

第5回21世紀成年者縦断調査 (国民の生活に関する継続調査) 結果の概況

目 次

調査の概要	1 頁
結果の概要	
I 結婚の状況	3
1 独身者のこの4年間の結婚の状況	3
2 仕事をしていた女性の結婚後の就業継続の有無	9
II 夫婦における子どもの出生の状況	12
1 この4年間の出生の状況	12
2 仕事をしていた妻の出産後の就業継続の有無	18
III 職業観・子ども観	23
1 職業観	23
2 子ども観	25
参考	27
用語の定義	29

第5回21世紀成年者縦断調査の結果は、厚生労働省のホームページにも掲載されています。

アドレス (<http://www.mhlw.go.jp/>)

7 結果の集計及び集計客体

結果の集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部において行った。

調査客体数、回収客体数、集計客体数は次のとおりである。

なお、本概況における集計客体数とは、調査客体となって以降、継続して集計可能である客体をいう。

	調査客体数	回収客体数	集計客体数
男性票	9,749	8,581	7,588
女性票	10,455	9,409	8,403
配偶者票（男性用）	2,328	2,126	1,344
配偶者票（女性用）	1,071	975	473
計	23,603	21,091	17,808

（参考）第1回からの男性票と女性票の調査客体数と回収客体数

調査回	調査票の種類	調査客体数	回収客体数	回収率
第1回	男性票	16,964	13,743	81.0%
	女性票	16,725	14,150	84.6%
	（計）	33,689	27,893	82.8%
第2回	男性票	14,809	11,910	80.4%
	女性票	14,874	12,483	83.9%
	（計）	29,683	24,393	82.2%
第3回	男性票	12,431	10,480	84.3%
	女性票	12,899	11,083	85.9%
	（計）	25,330	21,563	85.1%
第4回	男性票	10,908	9,509	87.2%
	女性票	11,517	10,207	88.6%
	（計）	22,425	19,716	87.9%
第5回	男性票	9,749	8,581	88.0%
	女性票	10,455	9,409	90.0%
	（計）	20,204	17,990	89.0%

8 利用上の注意

（1）表章記号の規約

計数のない場合	—
---------	---

（2）この概況に掲載の数値は四捨五入してあるので、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

（3）この概況に掲載の数値には、統計数が僅少のため利用する際に注意が必要なものが含まれる。

結果の概要

I 結婚の状況

1 独身者のこの4年間の結婚の状況

(1) 結婚の状況

第1回の独身者は、この4年間で、男性16.4%、女性21.6%が結婚した。

第1回の独身者のうち、男はこの1年間で4.0%が結婚し、この4年間で結婚したのは16.4%となった。女はこの1年間で5.5%が結婚し、この4年間では21.6%となった。男女とも、第1回の年齢が25～29歳の階級が結婚した割合が最も高く、男19.8%、女28.4%となっている。(表1、図1)

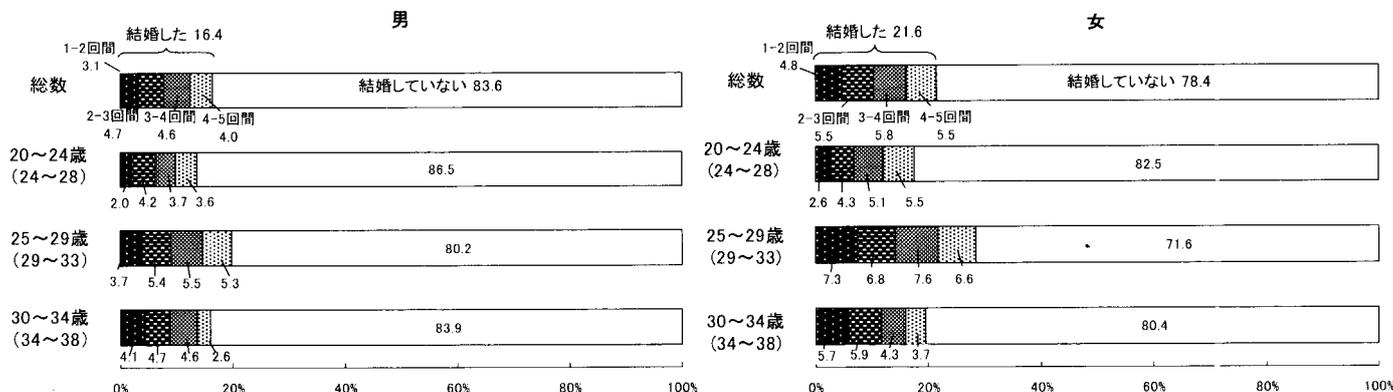
表1 性、年齢階級別にみたこの4年間の結婚の状況

(単位：%)

		第1回配偶者の有無		この4年間の結婚の状況							
		総数	配偶者あり	配偶者なし	結婚した					結婚していない	
					第1回から第2回間	第2回から第3回間	第3回から第4回間	第4回から第5回間			
第1回の年齢階級	男	(100.0)	100.0	33.5	65.2	10.7	2.0	3.1	3.0	2.6	54.5
	20～24歳(24～28)	(27.7)	100.0	4.8	94.0	12.7	1.9	4.0	3.5	3.4	81.2
	25～29歳(29～33)	(33.1)	100.0	27.9	70.5	14.0	2.6	3.8	3.9	3.7	56.6
	30～34歳(34～38)	(39.2)	100.0	58.4	40.5	6.5	1.7	1.9	1.9	1.0	34.0
()内は第5回	女	(100.0)	100.0	42.6	56.5	12.2	2.7	3.1	3.3	3.1	44.3
	20～24歳(24～28)	(28.1)	100.0	6.4	92.9	16.2	2.4	4.0	4.7	5.1	76.7
	25～29歳(29～33)	(31.7)	100.0	38.8	60.4	17.1	4.4	4.1	4.6	4.0	43.2
	30～34歳(34～38)	(40.3)	100.0	70.9	28.1	5.5	1.6	1.7	1.2	1.0	22.6

- 注：1) 集計対象は、第1回から第5回まで回答を得られている者である。
 2) 「結婚した」には、この4年間に結婚した後離婚した者を含む。
 3) 第1回配偶者の有無の総数には、配偶者の有無不詳を含む。
 4) []内は、第1回で配偶者なしであった者を総数としたこの4年間の結婚の状況である。
 5) 4年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

図1 独身者のこの4年間の結婚の状況



- 注：1) 集計対象は、第1回から第5回まで回答を得られている者である。
 2) 「結婚した」には、この4年間に結婚した後離婚した者を含む。
 3) 年齢は、第1回の年齢である。()内は第5回の年齢である。
 4) 4年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

(2) 親との同居の有無別にみた状況

男女ともに、親と同居している場合よりも親と同居していない場合の方が、「結婚した」の割合が高い傾向がある。

第1回の独身者について、「結婚した」は結婚前の、「結婚していない」は第4回の親との同居の有無別に、この4年間の結婚の状況をみた。親と同居していない場合は男22.2%、女24.2%が結婚しており、親と同居している場合には男15.7%、女21.2%が結婚している。

年齢階級が26～30歳では、親と同居していない場合に男27.0%、女34.6%が結婚しており、親と同居している場合には男17.4%、女24.3%が結婚している。(表2、図2)

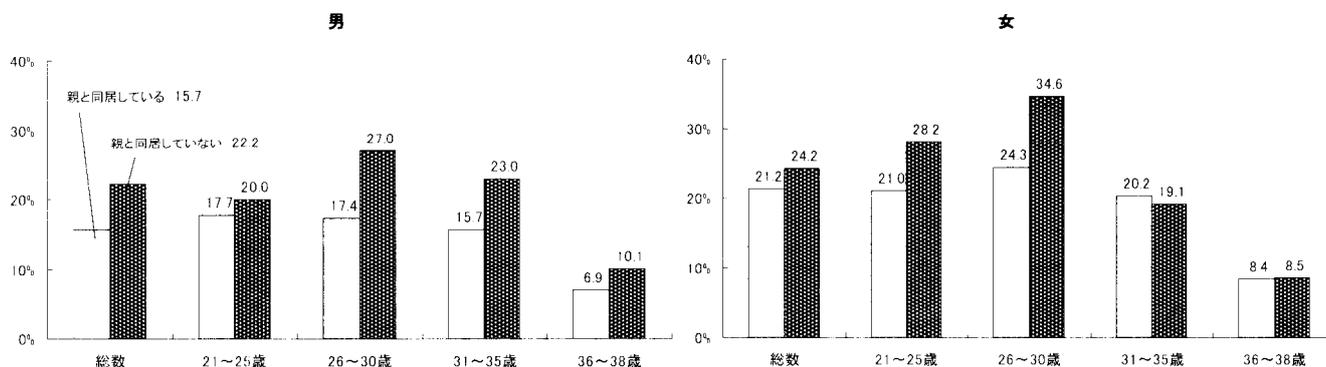
表2 性、年齢階級、親との同居の有無別にみたこの4年間の結婚の状況

(単位：%)

		男			女				
		総数	結婚した	結婚していない	総数	結婚した	結婚していない		
親との同居の有無	総数	(100.0)	100.0	16.4	83.6	(100.0)	100.0	21.6	78.4
	親と同居している	(76.8)	100.0	15.7	84.3	(82.2)	100.0	21.2	78.8
	親と同居していない	(14.4)	100.0	22.2	77.8	(13.1)	100.0	24.2	75.8
	21～25歳	(100.0)	100.0	17.6	82.4	(100.0)	100.0	21.4	78.6
	親と同居している	(77.4)	100.0	17.7	82.3	(84.2)	100.0	21.0	79.0
	親と同居していない	(12.8)	100.0	20.0	80.0	(11.0)	100.0	28.2	71.8
	26～30歳	(100.0)	100.0	18.7	81.3	(100.0)	100.0	25.5	74.5
	親と同居している	(77.7)	100.0	17.4	82.6	(85.7)	100.0	24.3	75.7
	親と同居していない	(13.5)	100.0	27.0	73.0	(10.1)	100.0	34.6	65.4
	31～35歳	(100.0)	100.0	16.1	83.9	(100.0)	100.0	20.2	79.8
	親と同居している	(76.4)	100.0	15.7	84.3	(78.3)	100.0	20.2	79.8
	親と同居していない	(15.5)	100.0	23.0	77.0	(16.9)	100.0	19.1	80.9
	36～38歳	(100.0)	100.0	8.0	92.0	(100.0)	100.0	8.2	91.8
	親と同居している	(74.4)	100.0	6.9	93.1	(72.8)	100.0	8.4	91.6
親と同居していない	(16.5)	100.0	10.1	89.9	(21.3)	100.0	8.5	91.5	

- 注：1) 集計対象は、第1回独身で第5回まで回答を得られている者である。
 2) 年齢は、「結婚した」は結婚後の、「結婚していない」は第5回の年齢である。
 3) 親との同居の有無は、「結婚した」は結婚前の、「結婚していない」は第4回の状況である。
 4) 「親と同居している」とは、父母のうちいずれか1人でも同居している場合をいう。
 5) 「結婚した」には、この4年間に結婚した後離婚した者を含む。
 6) 4年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。
 7) 総数、各年齢階級の総数には、親との同居の有無不詳を含む。

図2 親との同居の有無別にみたこの4年間に結婚した割合



- 注：1) 集計対象は、第1回独身で第5回まで回答を得られている者である
 2) 年齢は、結婚後の年齢である
 3) 親との同居の有無は、結婚前の状況である
 4) 「親と同居している」とは、父母のうちいずれか1人でも同居している場合をいう
 5) この4年間に結婚した後離婚した者を含む
 6) 4年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している

(3) 仕事の有無、一週間の就業時間別にみた状況

男性は、仕事が正規の場合 18.0%、非正規の場合 9.1%が、この4年間に結婚した。

第1回の独身者について、「結婚した」は結婚前の、「結婚していない」は第4回の仕事の有無別にこの4年間の結婚の状況をみた。

男は「仕事あり」の17.8%、「仕事なし」の6.2%が結婚した。仕事ありのうち、就業形態の正規・非正規別では、「正規」で18.0%、「非正規」で9.1%と、8.9ポイントの差がある。

また、女の、仕事の有無や就業形態別にみた結婚の状況は、男のような大きな違いはみられない。(表3、図3)

表3 性、仕事の有無別にみたこの4年間の結婚の状況

(単位：%)

		総数		結婚した	結婚していない
仕事の有無	男	(100.0)	100.0	16.4	83.6
	仕事あり	(87.5)	100.0	17.8	82.2
	(再掲) 正規	(58.9)	100.0	18.0	82.0
	(再掲) 非正規	(16.5)	100.0	9.1	90.9
	仕事なし	(12.4)	100.0	6.2	93.8
	女	(100.0)	100.0	21.6	78.4
	仕事あり	(89.2)	100.0	21.6	78.4
	(再掲) 正規	(52.9)	100.0	21.6	78.4
	(再掲) 非正規	(30.8)	100.0	19.1	80.9
仕事なし	(10.7)	100.0	21.1	78.9	

注：1) 集計対象は、第1回独身で第5回まで回答を得られている者である。

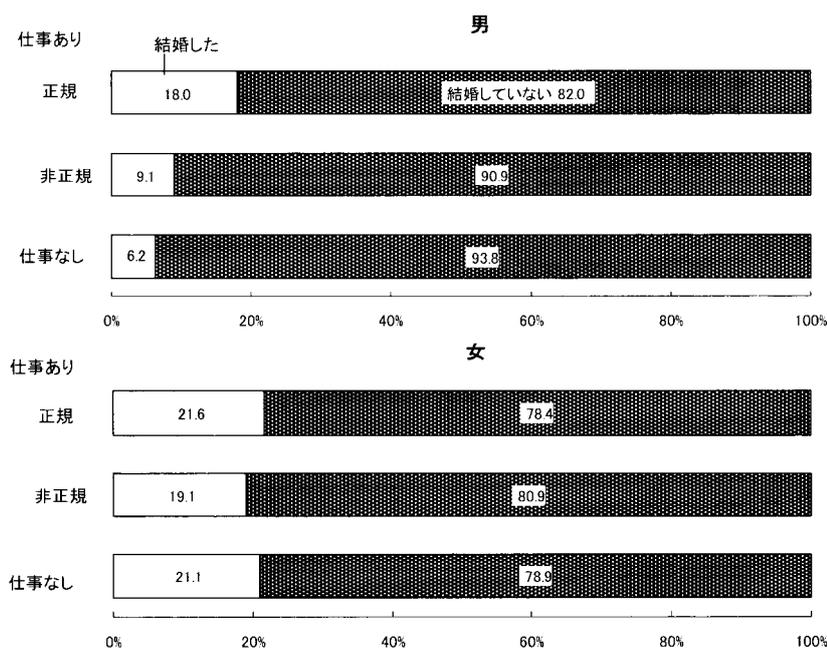
2) 仕事の有無、就業形態は、「結婚した」は結婚前の、「結婚していない」は第4回の状況である。

3) 「結婚した」には、この4年間に結婚した後離婚した者を含む。

4) 4年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

5) 「男」「女」には、仕事の有無不詳を含む。

図3 仕事の有無別にみたこの4年間の結婚の状況



注：1) 集計対象は、第1回独身で第5回まで回答を得られている者である。

2) 仕事の有無、就業形態は、「結婚した」は結婚前の、「結婚していない」は第4回の状況である。

3) 「結婚した」には、この4年間に結婚した後離婚した者を含む。

4) 4年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

さらに、仕事ありであった者について、一週間の就業時間別にこの4年間の結婚の状況をみると、男は40時間以上が、40時間未満よりも「結婚した」の割合が高い。また、女は就業時間による違いはみられない。(表4)

表4 性、一週間の就業時間別にみたこの4年間の結婚の状況

(単位：%)

		総数		結婚した	結婚していない
一週間の就業時間	男	(100.0)	100.0	17.8	82.2
	15時間未満	(3.1)	100.0	7.5	92.5
	15～34時間	(4.5)	100.0	7.6	92.4
	35～39時間	(3.9)	100.0	10.2	89.8
	40～48時間	(47.6)	100.0	18.2	81.8
	49～59時間	(17.9)	100.0	17.5	82.5
	60時間以上	(16.5)	100.0	21.5	78.5
	女	(100.0)	100.0	21.6	78.4
	15時間未満	(4.0)	100.0	21.2	78.8
	15～34時間	(8.0)	100.0	16.0	84.0
	35～39時間	(10.3)	100.0	25.4	74.6
	40～48時間	(51.2)	100.0	20.8	79.2
	49～59時間	(12.7)	100.0	16.9	83.1
60時間以上	(5.9)	100.0	23.5	76.5	

注:1) 集計対象は、第1回独身で第5回まで回答を得られている者で、「結婚した」は結婚前に、

「結婚していない」は第4回に仕事ありの者である。

2) 一週間の就業時間は、「結婚した」は結婚前の、「結婚していない」は第4回の状況である。

3) 「結婚した」には、この4年間に結婚した後離婚した者を含む。

4) 4年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

5) 「男」「女」には、一週間の就業時間不詳を含む。

(4) 結婚の状況別にみた就業状況の変化

女性は 44.5%が結婚後も同一就業を継続し、28.7%が離職をしている。男性は 72.0%が結婚後も同一就業を継続している。

第1回の独身者について、この4年間の結婚の状況別に、「結婚した」は結婚前後の、「結婚していない」はこの1年間の就業状況の変化をみた。

結婚した場合の「同一就業継続」は、男 72.0%、女 44.5%、「離職」は、男 1.4%、女 28.7%、結婚していない場合の「同一就業継続」は、男 68.7%、女 68.9%、「離職」は、男 3.1%、女 5.0%となっている。(表5、図4)

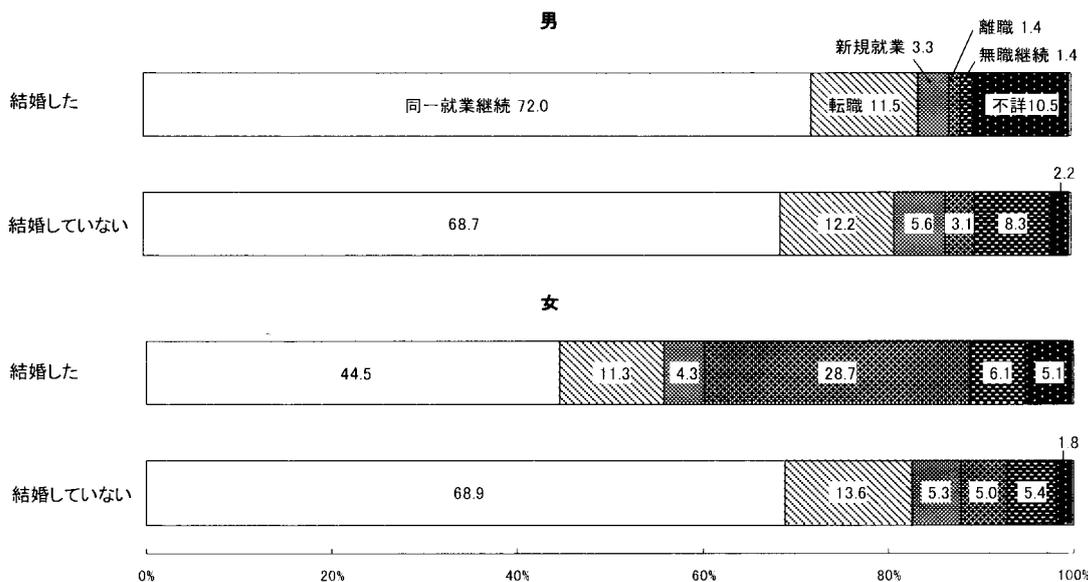
表5 性、この4年間の結婚の状況、年齢階級別にみた就業状況の変化

(単位：%)

	総数	同一就業継続			転職			新規就業	離職	無職継続	不詳		
		(再掲) 正規	(再掲) 非正規		(再掲) 正規から非正規	(再掲) 非正規から正規							
男	結婚した	(100.0)	100.0	72.0	59.5	4.4	11.5	0.6	2.6	3.3	1.4	1.4	10.5
	21～25歳	(18.5)	100.0	59.3	48.0	4.7	11.3	0.7	2.0	9.3	3.3	2.7	14.0
	26～30歳	(45.4)	100.0	71.2	60.6	3.5	12.0	0.5	3.0	2.7	0.8	1.4	12.0
	31～35歳	(30.1)	100.0	80.7	64.3	6.6	9.8	0.8	2.5	1.2	0.8	0.8	6.6
	36～38歳	(5.9)	100.0	72.9	62.5		16.7		2.1		2.1		8.3
	結婚していない	(100.0)	100.0	68.7	51.7	9.8	12.2	1.6	2.5	5.6	3.1	8.3	2.2
	24～25歳	(17.1)	100.0	55.3	39.1	12.0	16.5	1.6	4.5	11.3	4.2	11.6	1.1
	26～30歳	(38.8)	100.0	68.6	51.3	11.5	13.3	1.9	2.6	5.7	3.0	7.2	2.2
31～35歳	(30.8)	100.0	74.1	57.7	7.5	10.4	1.6	1.6	3.5	2.6	7.1	2.2	
36～38歳	(13.4)	100.0	73.6	55.5	7.2	8.0	0.7	1.8	2.7	3.1	9.6	3.1	
女	結婚した	(100.0)	100.0	44.5	31.5	10.7	11.3	3.1	1.4	4.3	28.7	6.1	5.1
	21～25歳	(20.9)	100.0	39.7	31.3	8.4	13.6	3.3	0.9	2.3	33.6	7.9	2.8
	26～30歳	(50.6)	100.0	43.1	31.9	9.3	11.2	2.9	1.5	5.0	29.5	5.6	5.6
	31～35歳	(25.0)	100.0	51.2	31.6	15.6	10.2	3.1	1.6	4.7	23.4	5.1	5.5
	36～38歳	(3.5)	100.0	47.2	27.8	11.1	8.3	5.6	-	2.8	25.0	8.3	8.3
	結婚していない	(100.0)	100.0	68.9	46.5	20.0	13.6	2.0	2.2	5.3	5.0	5.4	1.8
	24～25歳	(21.1)	100.0	66.2	45.7	19.6	15.7	2.9	2.8	5.9	5.0	5.5	1.8
	26～30歳	(40.8)	100.0	67.5	46.1	19.2	15.7	2.2	2.7	5.4	5.2	4.8	1.4
31～35歳	(27.2)	100.0	72.4	48.1	20.9	10.0	1.5	1.5	4.8	4.8	5.8	2.2	
36～38歳	(10.9)	100.0	71.1	46.2	21.0	11.1	0.7	0.7	4.7	4.7	6.2	2.2	

注：1) 集計対象は、第1回独身で第5回まで回答を得られている者である。ただし、「結婚した」には、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。
 2) 年齢は、「結婚した」は結婚後の、「結婚していない」は第5回の年齢である。
 3) 就業状況の変化は、「結婚した」は結婚前後の、「結婚していない」は第4回から第5回にかけての就業状況の変化である。
 4) 4年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

図4 この4年間の結婚の状況別にみた就業状況の変化



注：1) 集計対象は、第1回独身で第5回まで回答を得られている者である。ただし、「結婚した」には、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。
 2) 就業状況の変化は、「結婚した」は結婚前後の、「結婚していない」は第4回から第5回にかけての就業状況の変化である。
 3) 4年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

(5) 所得額別にみたこの2年間の結婚の状況

男女ともに、「400～500万円未満」で「結婚した」の割合が最も高く、所得額が高くなるほど、結婚の割合が高くなる傾向がある。

第3回の独身者について、「結婚した」は、第3回から第4回間の結婚は平成15年中、第4回から第5回間の結婚は平成16年中の、「結婚していない」は平成16年中の所得額階級別に、この2年間の結婚の状況をみた。

男女ともに、「400～500万円未満」で「結婚した」の割合が最も高く、所得額が高くなるほど、結婚の割合が高くなる傾向があり、特に、男では、最も低い「100万円未満」で4.4%、最も高い「400～500万円未満」で13.4%と、9.0ポイントの差がある。(表6、図5)

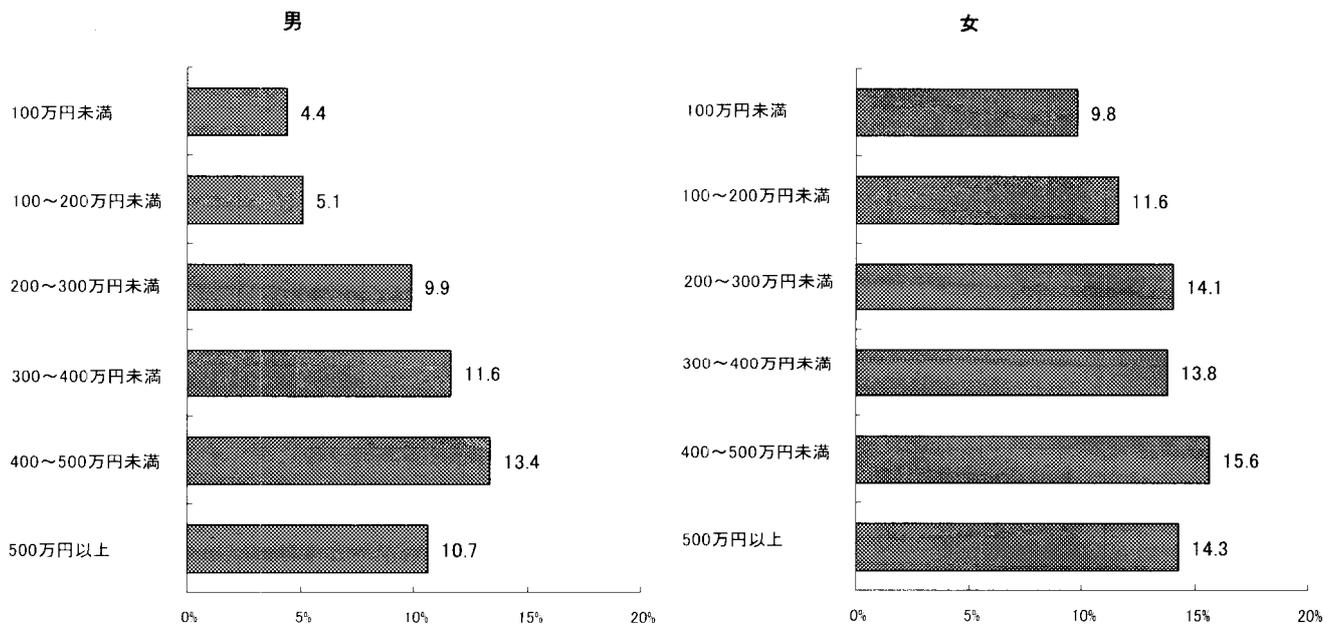
表6 性、所得額階級別にみたこの2年間の結婚の状況

(単位：%)

		男				女			
		総数	結婚した	結婚していない		総数	結婚した	結婚していない	
所得額	総数	(100.0)	100.0	9.1	90.9	(100.0)	100.0	12.5	87.5
	100万円未満	(14.4)	100.0	4.4	95.6	(13.6)	100.0	9.8	90.2
	100～200万円未満	(12.0)	100.0	5.1	94.9	(23.7)	100.0	11.6	88.4
	200～300万円未満	(20.9)	100.0	9.9	90.1	(28.2)	100.0	14.1	85.9
	300～400万円未満	(21.5)	100.0	11.6	88.4	(15.8)	100.0	13.8	86.2
	400～500万円未満	(11.8)	100.0	13.4	86.6	(5.7)	100.0	15.6	84.4
	500万円以上	(7.4)	100.0	10.7	89.3	(3.0)	100.0	14.3	85.7

- 注：1)集計対象は、第3回独身で第5回まで回答を得られている者である。ただし、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。
 2)所得額は、1年間の「働いて得た所得」と「その他の所得」の合計金額である。
 3)所得額は、「結婚した」は、第3回から第4回間の結婚は平成15年中、第4回から第5回間の結婚は平成16年中の、「結婚していない」は平成16年中の状況である。
 4)総数には、所得額不詳を含む。
 5)2年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

図5 所得額階級別にみたこの2年間に「結婚した」者



- 注：1)集計対象は、第3回独身で第5回まで回答を得られている者である。ただし、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。
 2)所得額は、1年間の「働いて得た所得」と「その他の所得」の合計金額である。
 3)所得額は、第3回から第4回間の結婚は平成15年中、第4回から第5回間の結婚は平成16年中の状況である。
 4)2年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

2 仕事をしてきた女性の結婚後の就業継続の有無

(1) 年齢階級別にみた状況

女性は、仕事が正規の場合 57.7%、非正規の場合 39.4%が、結婚後も同一就業を継続している。

表5のうち、この4年間に結婚し、結婚前に仕事をしてきた女性について結婚後の就業継続の有無をみると、「同一就業継続」は49.8%、「転職」は12.7%、「離職」は32.1%となっている。

また、就業形態別にみると、「正規」では57.7%、「非正規」では39.4%が「同一就業継続」となっている。「非正規」では、「離職」が39.8%となっており、21～25歳では、約半数が離職している。

(表7、図6)

表7 年齢階級別にみた女性の就業継続の有無

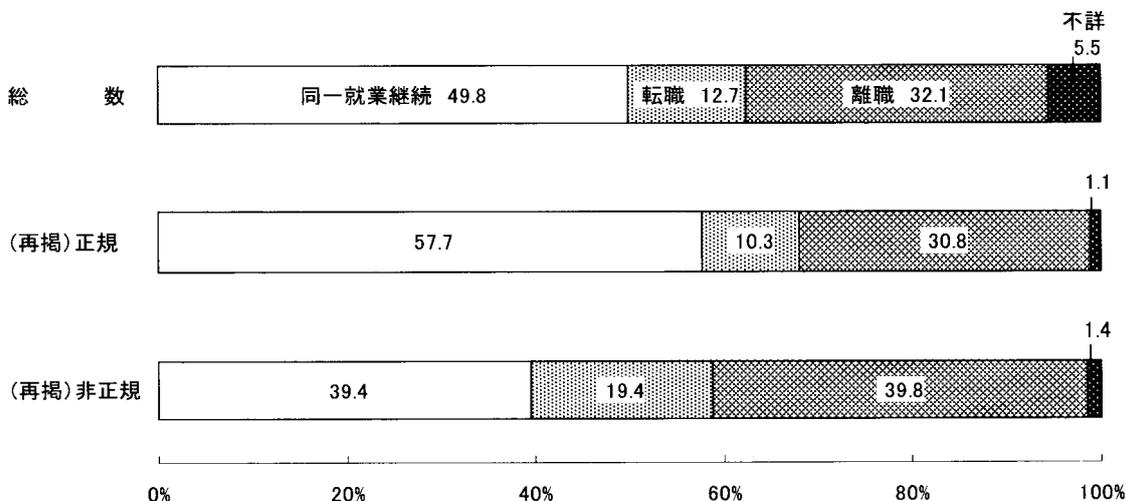
		総数	同一就業 継続	転職		離職	不詳		
				総数	(再掲) 正規へ			(再掲) 非正規へ	
結婚後 (再掲) の年齢 階級 結婚前 の正規 ・非 正規	総数	(100.0)	100.0	49.8	12.7	3.6	8.1	32.1	5.5
	21～25歳	(20.9)	100.0	44.5	15.2	4.7	9.4	37.7	2.6
	26～30歳	(50.4)	100.0	48.3	12.6	3.2	8.0	33.1	6.1
	31～35歳	(25.2)	100.0	56.7	11.3	3.9	6.9	26.0	6.1
	36～38歳	(3.5)	100.0	53.1	9.4	-	9.4	28.1	9.4
	(再掲) 正規	(100.0)	100.0	57.7	10.3	3.0	5.9	30.8	1.1
	21～25歳	(22.0)	100.0	54.6	13.4	5.9	5.9	31.9	-
	26～30歳	(51.5)	100.0	57.7	9.0	1.8	5.4	31.9	1.4
	31～35歳	(23.2)	100.0	61.1	10.3	3.2	6.3	27.0	1.6
	36～38歳	(3.3)	100.0	55.6	11.1	-	11.1	33.3	-
	(再掲) 非正規	(100.0)	100.0	39.4	19.4	5.0	14.0	39.8	1.4
	21～25歳	(21.5)	100.0	30.0	21.7	3.3	18.3	48.3	-
	26～30歳	(50.2)	100.0	34.3	20.7	5.7	14.3	43.6	1.4
	31～35歳	(26.2)	100.0	54.8	16.4	5.5	11.0	26.0	2.7
36～38歳	(2.2)	100.0	66.7	-	-	-	33.3	-	

注：1) 集計対象は、第1回独身で第5回まで回答を得られ、この4年間に結婚し、結婚前に仕事ありの女性である。

ただし、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。

2) 4年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

図6 女性の就業継続の有無



注：1) 集計対象は、第1回独身で第5回まで回答を得られ、この4年間に結婚し、結婚前に仕事ありの女性である。

ただし、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。

2) 4年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

3) 「正規」「非正規」は、結婚前の状況である。

(2) 1年前の「結婚後の就業継続意欲」別にみた状況

1年前に、仕事を「結婚した後も続ける」と考えていた女性の72.9%が、結婚後も同一就業を継続している。

第1回から第4回までの独身者について、この1年間に結婚し、結婚前に仕事をしてきた女性について、第4回の結婚後の就業継続意欲別に就業継続の有無をみた。

1年前に、仕事を「結婚した後も続ける」と考えていた女性の72.9%が、結婚後も「同一就業継続」となっている。

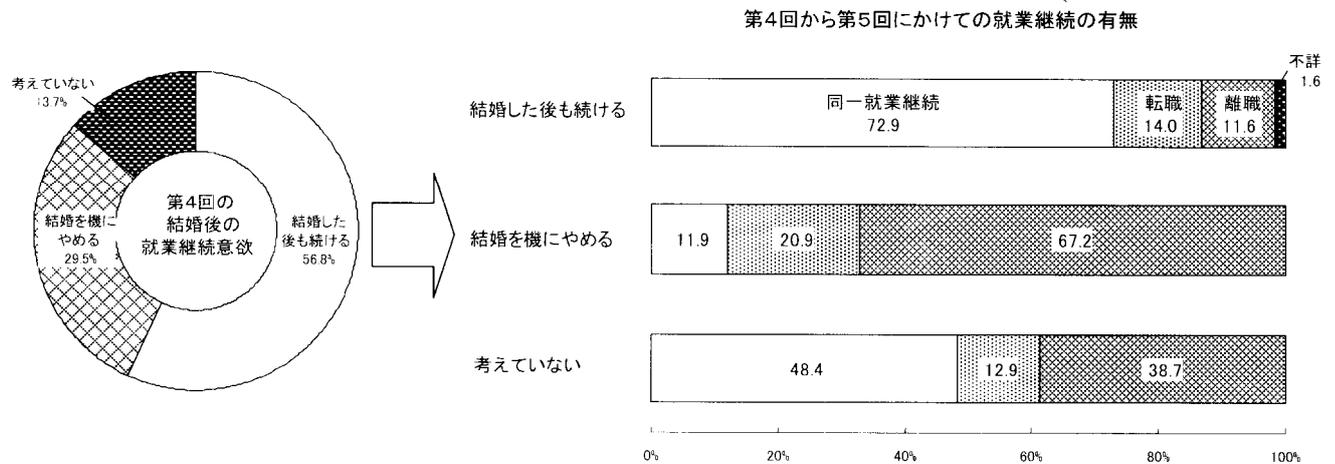
また、就業形態別にみると、「正規」では80.5%、「非正規」では65.0%が「同一就業継続」となっている。(表8、図7)

表8 第4回の結婚後の就業継続意欲別にみた女性の就業継続の有無

		総数		同一就業継続	転職			離職	不詳
					総数	(再掲) 正規へ	(再掲) 非正規へ		
第4回(再掲)結婚前の就業継続意欲・非正規	総数	(100.0)	100.0	51.5	15.9	4.0	10.6	31.7	0.9
	結婚した後も続ける	(56.8)	100.0	72.9	14.0	4.7	8.5	11.6	1.6
	結婚を機にやめる	(29.5)	100.0	11.9	20.9	4.5	14.9	67.2	-
	考えていない	(13.7)	100.0	48.4	12.9	-	9.7	38.7	-
	(再掲) 正規	(100.0)	100.0	58.3	12.2	2.9	7.9	29.5	-
	結婚した後も続ける	(59.0)	100.0	80.5	8.5	1.2	6.1	11.0	-
	結婚を機にやめる	(30.9)	100.0	11.6	20.9	7.0	11.6	67.4	-
	考えていない	(10.1)	100.0	71.4	7.1	-	7.1	21.4	-
	(再掲) 非正規	(100.0)	100.0	42.9	18.2	3.9	13.0	37.7	1.3
	結婚した後も続ける	(51.9)	100.0	65.0	17.5	7.5	10.0	15.0	2.5
	結婚を機にやめる	(27.3)	100.0	9.5	19.0	-	19.0	71.4	-
	考えていない	(20.8)	100.0	31.3	18.8	-	12.5	50.0	-

注：集計対象は、第1回から第4回まで独身で、第5回まで回答を得られたこの1年間に結婚した結婚前に仕事ありの女性のうち、第4回の結婚意欲が、「絶対したい」「なるべくしたい」「どちらとも言えない」「あまりしたくない」のいずれかの者である。ただし、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。

図7 第4回の結婚後の就業継続意欲別にみた女性の就業継続の有無



注：集計対象は、第1回から第4回まで独身で、第5回まで回答を得られたこの1年間に結婚した結婚前に仕事ありの女性のうち、第4回の結婚意欲が、「絶対したい」「なるべくしたい」「どちらとも言えない」「あまりしたくない」のいずれかの者である。ただし、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。

結婚を考えている相手や家族が退職することを望んだり、あるいは、会社に働き続けにくい雰囲気があるということがあった女性では、「同一就業継続」が35.3%、「離職」が55.9%となっている。

第4回の結婚後の就業継続に関する家族の考え方や会社の雰囲気別に、就業継続の有無をみると、「結婚を考えている相手や家族が結婚後退職することを望んでいる」あるいは「会社に結婚後働き続けにくい雰囲気がある」ということがあった場合、「同一就業継続」が35.3%、「離職」が55.9%となっている。

また、「結婚を考えている相手や家族が結婚後退職することを望んでいる」、「会社に結婚後働き続けにくい雰囲気がある」ということがいずれもなかった場合、「同一就業継続」が54.2%、「離職」が27.6%となっている。(表9、図8)

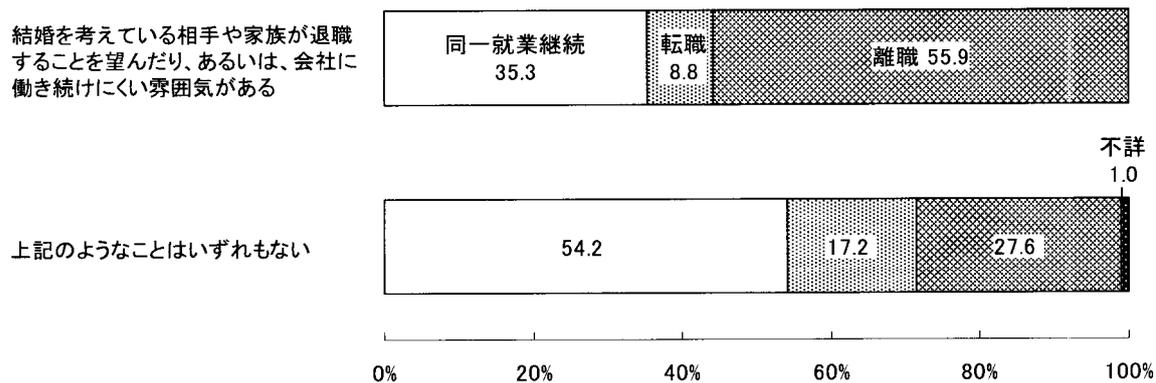
表9 第4回の結婚後の就業継続に関する家族の考え方や会社の雰囲気別にみた女性の就業継続の有無

(単位：%)

		総数	同一就業継続	転職	離職	
第4回の 家族の考え方や 会社の雰囲気	総数	(100.0)	100.0	51.5	15.9	31.7
	結婚を考えている相手や家族が退職することを望んだり、 あるいは、会社に働き続けにくい雰囲気がある	(15.0)	100.0	35.3	8.8	55.9
	上記のようなことはいずれもない	(84.6)	100.0	54.2	17.2	27.6

注：1) 集計対象は、第1回から第4回まで独身で、第5回まで回答を得られたこの1年間に結婚した結婚前に仕事ありの女性のうち、第4回の結婚意欲が、「絶対したい」「なるべくしたい」「どちらとも言えない」「あまりしたくない」のいずれかの者である。ただし、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。
2) 総数には、結婚後の就業継続に関する家族の考え方や会社の雰囲気不詳、就業継続の有無不詳を含む。

図8 第4回の結婚後の就業継続に関する家族の考え方や会社の雰囲気別にみた女性の就業継続の有無



注：1) 集計対象は、第1回から第4回まで独身で、第5回まで回答を得られたこの1年間に結婚した結婚前に仕事ありの女性のうち、第4回の結婚意欲が、「絶対したい」「なるべくしたい」「どちらとも言えない」「あまりしたくない」のいずれかの者である。ただし、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。

II 夫婦における子どもの出生の状況

1 この4年間の出生の状況

(1) 出生の状況

この4年間に、第1回からの夫婦の33.2%、第2回からの夫婦の70.7%、第3回からの夫婦の52.5%、第4回からの夫婦の39.3%に子どもが生まれた。

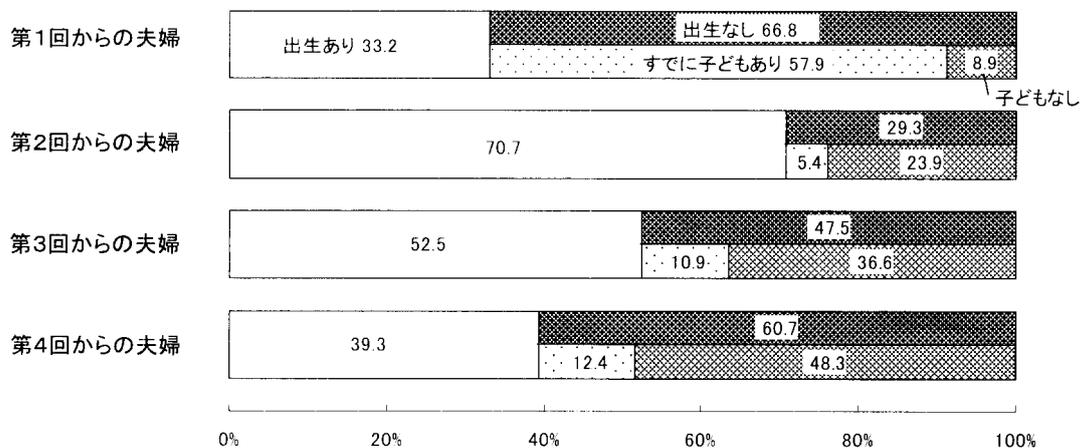
この1年間に、第1回からの夫婦の5.5%、第2回からの夫婦の20.0%、第3回からの夫婦の21.8%、第4回からの夫婦の39.3%に子どもが生まれ、この4年間では、それぞれ33.2%、70.7%、52.5%、39.3%の夫婦に1人以上の子どもが生まれた。(表10、図9)

表10 妻の年齢階級別にみたこの4年間の出生の状況

	総数	この4年間に出生あり															この4年間に出生なし		
		第1回から第2回間に出生			第2回から第3回間に出生			第3回から第4回間に出生			第4回から第5回間に出生			総数	すでに子どもあり	子どもなし			
		総数	第1子	第2子以降															
第1回からの夫婦	(100.0)	100.0	33.2	12.8	3.8	9.0	11.1	2.1	9.0	8.1	1.1	7.0	5.5	0.5	5.0	66.8	57.9	8.9	
21～25歳	(0.4)	100.0	16.2	15.4	7.7	7.7	23.1	7.7	15.4	15.4	-	15.4	-	-	-	53.8	30.8	23.1	
26～30歳	(9.0)	100.0	59.2	18.7	5.6	13.0	23.6	5.3	18.3	15.5	2.5	13.0	12.0	0.7	11.3	40.8	33.1	7.7	
31～35歳	(15.5)	100.0	12.5	16.1	5.6	10.5	14.7	3.3	11.5	10.2	1.7	8.5	7.4	0.8	6.5	57.5	48.7	8.8	
36歳以上	(45.2)	100.0	18.5	8.2	1.5	6.8	5.5	1.0	1.5	1.5	0.3	1.3	2.3	0.1	2.2	81.5	72.4	9.1	
第2回からの夫婦	(100.0)	100.0	70.7	-	-	-	36.6	35.6	1.0	24.9	20.5	1.4	20.0	10.7	9.3	29.3	5.4	23.9	
21～25歳	(3.9)	100.0	75.0	-	-	-	62.5	62.5	-	25.0	12.5	12.5	25.0	-	25.0	25.0	12.5	12.5	
26～30歳	(12.0)	100.0	76.7	-	-	-	13.0	11.9	1.2	23.3	17.4	5.8	25.6	9.3	16.3	23.3	7.0	16.3	
31～35歳	(12.0)	100.0	65.1	-	-	-	29.1	29.1	-	25.6	23.3	2.3	11.0	11.6	2.3	34.9	3.5	31.4	
36歳以上	(12.2)	100.0	68.0	-	-	-	32.0	28.0	1.0	28.0	21.0	4.0	20.0	16.0	4.0	32.0	4.0	28.0	
第3回からの夫婦	(100.0)	100.0	52.5	-	-	-	-	-	-	31.9	29.8	2.1	21.8	13.9	8.0	47.5	10.9	36.6	
21～25歳	(10.1)	100.0	50.0	-	-	-	-	-	-	25.0	25.0	-	29.2	12.5	16.7	50.0	29.2	20.8	
26～30歳	(17.9)	100.0	52.6	-	-	-	-	-	-	34.2	32.5	1.8	20.2	14.0	6.1	47.4	12.3	35.1	
31～35歳	(32.8)	100.0	56.4	-	-	-	-	-	-	32.1	29.5	2.6	21.4	15.4	9.0	43.6	2.6	41.0	
36歳以上	(9.2)	100.0	40.9	-	-	-	-	-	-	27.3	22.7	4.5	13.6	9.1	4.5	59.1	13.6	45.5	
第4回からの夫婦	(100.0)	100.0	39.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	39.3	37.5	1.9	60.7	12.4	48.3	
21～25歳	(10.9)	100.0	18.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	48.3	48.3	-	51.7	17.2	34.5	
26～30歳	(53.2)	100.0	39.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	39.4	37.3	2.1	60.6	10.6	50.0	
31～35歳	(28.5)	100.0	35.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35.5	32.9	2.6	64.5	13.2	51.3	
36歳以上	(7.5)	100.0	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40.0	40.0	-	60.0	15.0	45.0	

注：1) 集計対象は、(1)または(2)に該当する夫婦である。
 ① 第1回から第5回まで双方から回答を得られている夫婦
 ② 第1回に独身で第4回までの間に結婚し、結婚後第5回まで双方から回答を得られている夫婦
 2) 「出生あり」とは、夫・妻双方から回答を得てからの出生である。

図9 この4年間の出生の状況



(2) 妻の仕事の有無別にみた状況

子どもがいなかった夫婦は、妻の仕事が正規の場合の43.9%に第1子が生まれている。

第1回、第2回、第3回及び第4回からの夫婦について、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第4回の妻の仕事の有無別に、この4年間の出生の状況をみた。

「仕事あり」で就業形態が「正規」の場合37.3%、「非正規」の場合19.3%、「仕事なし」の場合38.6%に子どもが生まれている。また、子ども数にかかわらず、「非正規」の場合に子どもが生まれている割合が低い。(表11、図10)

表11 妻の仕事の有無別にみたこの4年間の出生の状況

		(単位：%)												
		総数			子どもなし			1人			2人以上			
		総数	出生あり	出生なし	総数	第1子出生あり	出生なし	総数	第2子出生あり	出生なし	総数	第3子以降出生あり	出生なし	
妻の 仕事 の有無	総数	(100.0)	100.0	31.4	68.6	100.0	38.2	61.8	100.0	52.9	47.1	100.0	14.9	85.1
	仕事あり	(60.2)	100.0	26.6	73.4	100.0	38.8	61.2	100.0	45.6	54.4	100.0	10.7	89.3
	(再掲) 正規	(19.7)	100.0	37.3	62.7	100.0	43.9	56.1	100.0	57.6	42.4	100.0	13.8	86.2
	(再掲) 非正規	(31.6)	100.0	19.3	80.7	100.0	32.3	67.7	100.0	33.8	66.2	100.0	7.9	92.1
	仕事なし	(39.7)	100.0	38.6	61.4	100.0	36.8	63.2	100.0	59.4	40.6	100.0	21.5	78.5

注：1) 集計対象は、①または②に該当する夫婦である。ただし、妻の「出生前データ」が得られていない夫婦は除く。

①第1回から第5回まで双方から回答を得られている夫婦

②第1回に独身で第4回までの間に結婚し、結婚後第5回まで双方から回答を得られている夫婦

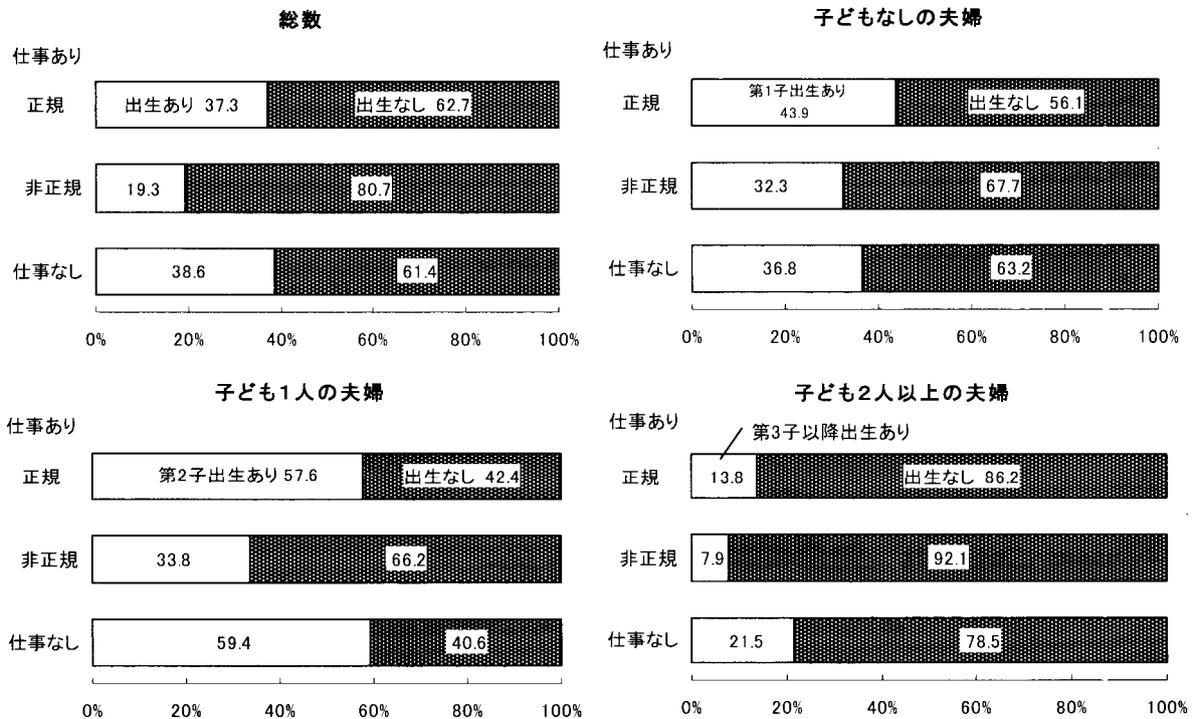
2) 仕事の有無、就業形態は、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第4回の状況である。

3) 「子どもなし」「1人」「2人以上」は、出生前の状況である。

4) 4年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

5) 総数には、仕事の有無不詳を含む。

図10 妻の仕事の有無別にみたこの4年間の出生の状況



注：1) 集計対象は、①または②に該当する夫婦である。ただし、妻の「出生前データ」が得られていない夫婦は除く。

①第1回から第5回まで双方から回答を得られている夫婦

②第1回に独身で第4回までの間に結婚し、結婚後第5回まで双方から回答を得られている夫婦

2) 仕事の有無、就業形態は、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第4回の状況である。

3) 「子どもなし」「1人」「2人以上」は、出生前の状況である。

4) 4年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

(3) 妻の職場における育児休業制度の有無別にみたこの3年間の出生の状況

子どもが1人いる夫婦では、妻の職場に育児休業制度がある場合45.5%、制度がない場合28.0%に第2子が生まれている。

第1回、第2回、第3回及び第4回からの夫婦のうち、「出生あり」は出生前に、「出生なし」は第4回に妻が会社等に勤めていた夫婦について、妻の職場の利用可能な育児休業制度の有無別に、この3年間の出生の状況をみた。

妻の職場に、育児休業の「制度あり」で、「第1子出生あり」は34.3%、「第2子出生あり」では45.5%、「第3子以降出生あり」では10.9%となっており、「制度なし」では、それぞれ31.2%、28.0%、5.2%となっている。(表12、図11)

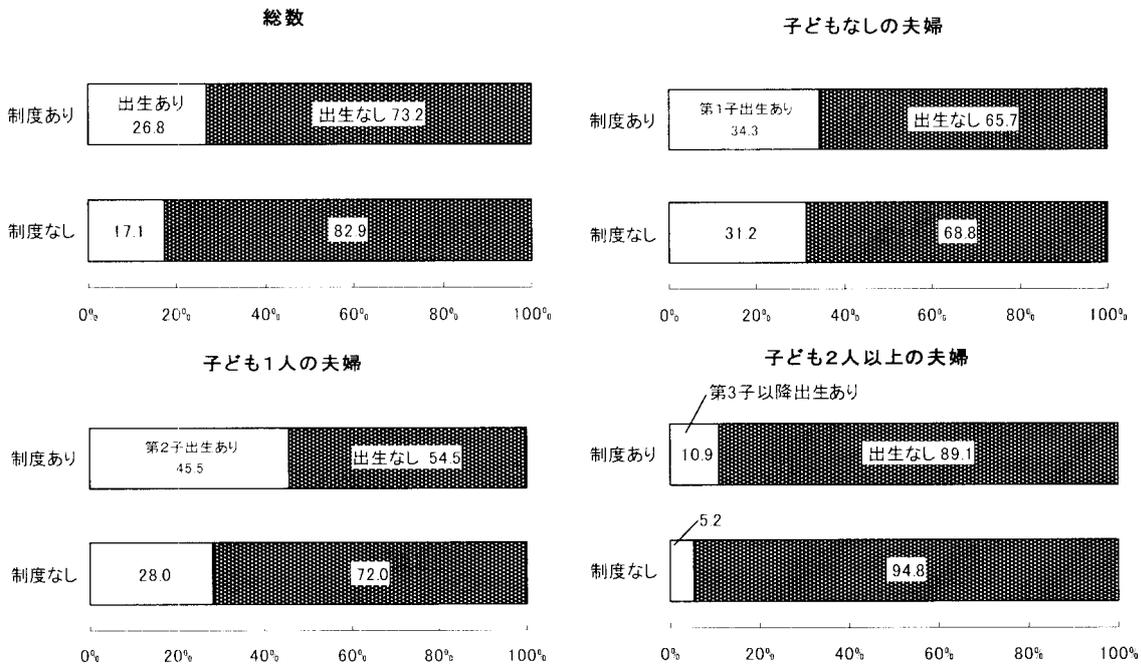
表12 妻の職場の育児休業制度の有無別にみたこの3年間の出生の状況

(単位：%)

		総数			子どもなし			1人			2人以上			
		総数	出生あり	出生なし	総数	第1子出生あり	出生なし	総数	第2子出生あり	出生なし	総数	第3子以降出生あり	出生なし	
妻の職場の育児休業制度の有無	総数	(100.0)	100.0	20.9	79.1	100.0	32.8	67.2	100.0	34.8	65.2	100.0	7.3	92.7
	制度あり	(38.6)	100.0	26.8	73.2	100.0	34.3	65.7	100.0	45.5	54.5	100.0	10.9	89.1
	利用しやすい雰囲気がある	(18.0)	100.0	31.1	68.9	100.0	10.8	89.2	100.0	50.0	50.0	100.0	13.1	86.6
	利用しにくい雰囲気がある	(8.2)	100.0	23.1	76.6	100.0	34.8	65.2	100.0	38.1	61.9	100.0	3.7	96.3
	どちらともいえない	(9.9)	100.0	25.9	74.1	100.0	26.1	73.9	100.0	47.1	52.9	100.0	14.9	85.1
	制度なし	(32.9)	100.0	17.1	82.9	100.0	31.2	68.8	100.0	28.0	72.0	100.0	5.2	94.8
	制度があるかわからない	(24.4)	100.0	16.3	83.7	100.0	29.7	70.3	100.0	27.6	72.4	100.0	6.1	93.9

注：①集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当する夫婦である
 ①第1回から第5回まで双方から回答を得られている夫婦
 ②第1回に独身で第4回までの間に結婚し、結婚後第5回まで双方から回答を得られている夫婦
 ③「出生あり」は出生前に、「出生なし」は第4回に妻が会社等に勤めていた夫婦で、育児休業制度の有無が得られている夫婦
 ④育児休業制度の有無とは、利用可能な制度があるかどうかをいい、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第4回の状況である
 ⑤「子どもなし」「1人」「2人以上」は、出生前の状況である
 ⑥3年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している
 ⑦総数には、育児休業制度の有無不詳を含む

図11 妻の職場の育児休業制度の有無別にみたこの3年間の出生の状況



注：①集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当する夫婦である
 ①第1回から第5回まで双方から回答を得られている夫婦
 ②第1回に独身で第4回までの間に結婚し、結婚後第5回まで双方から回答を得られている夫婦
 ③「出生あり」は出生前に、「出生なし」は第4回に妻が会社等に勤めていた夫婦で、育児休業制度の有無が得られている夫婦
 ④育児休業制度の有無とは、利用可能な制度があるかどうかをいい、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第4回の状況である
 ⑤「子どもなし」「1人」「2人以上」は、出生前の状況である
 ⑥3年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している

(4) 夫の休日の家事・育児時間別にみた状況

子どもがいる夫婦は、夫の休日の家事・育児時間が長い方が第2子以降の生まれる割合が高くなっている。

第1回、第2回、第3回及び第4回からの夫婦について、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第4回の夫の休日の家事・育児時間別に、この4年間の出生の状況をみた。

子ども1人の夫婦では、「家事・育児時間なし」で20.5%、「8時間以上」で63.2%に第2子が生まれている。また、子どもがいる夫婦全体でみると、「家事・育児時間なし」で7.5%、「8時間以上」で40.1%に第2子以降が生まれており、家事・育児時間が長いほど子どもが生まれている割合が高くなっている。(表13、図12)

表13 夫の休日の家事・育児時間別にみたこの4年間の出生の状況

		総数			子どもなし			1人			2人以上			
		総数	出生あり	出生なし	総数	第1子出生あり	出生なし	総数	第2子出生あり	出生なし	総数	第3子以降出生あり	出生なし	
夫の 家事・ 育児 時間	総数	(100.0)	100.0	31.5	68.5	100.0	38.1	61.9	100.0	53.0	47.0	100.0	15.0	85.0
	家事・育児時間なし	(8.9)	100.0	25.7	74.3	100.0	39.3	60.7	100.0	20.5	79.5	100.0	1.1	98.9
	2時間未満	(26.9)	100.0	27.2	72.8	100.0	37.9	62.1	100.0	35.9	64.1	100.0	8.7	91.3
	2～4時間未満	(21.4)	100.0	27.4	72.6	100.0	34.6	65.4	100.0	51.2	48.8	100.0	11.7	88.3
	4～6時間未満	(13.6)	100.0	34.4	65.6	100.0	45.5	54.5	100.0	56.3	43.8	100.0	19.6	80.4
	6～8時間未満	(5.9)	100.0	39.1	60.9	100.0	50.0	50.0	100.0	63.8	36.2	100.0	17.4	82.6
	8時間以上	(19.3)	100.0	40.3	59.7	100.0	55.6	44.4	100.0	63.2	36.8	100.0	24.4	75.6

注:1) 集計対象は、①または②に該当する同居夫婦である。ただし、妻の「出生前データ」が得られていない夫婦は除く。

①第1回から第5回まで双方から回答を得られている夫婦

②第1回に独身で第4回までの間に結婚し、結婚後第5回まで双方から回答を得られている夫婦

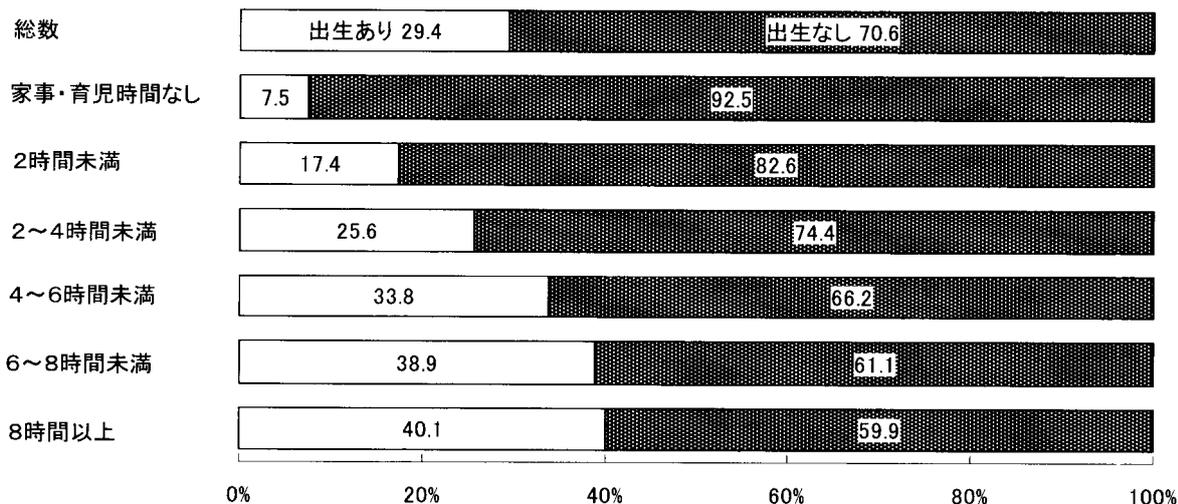
2) 家事・育児時間は、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第4回の状況である。

3) 「子どもなし」「1人」「2人以上」は出生前の状況である。

4) 4年間で2人以上の出生ありの場合は、末子について計上している。

5) 総数には、家事・育児時間不詳を含む。

図12 子どもがいる夫婦の夫の休日の家事・育児時間別にみたこの4年間の第2子以降の出生の状況



注:1) 集計対象は、①または②に該当する同居夫婦である。ただし、妻の「出生前データ」が得られていない夫婦は除く。

①第1回から第5回まで双方から回答を得られている夫婦

②第1回に独身で第4回までの間に結婚し、結婚後第5回まで双方から回答を得られている夫婦

2) 家事・育児時間は、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第4回の状況である。

3) 4年間で2人以上の出生ありの場合は、末子について計上している。

4) 総数には、家事・育児時間不詳を含む。

(5) 住居の床面積別にみた状況

住居の床面積別に出生の状況を見ると、「出生あり」総数では「25㎡未満」が最も高くなっているのに比べ、「第2子出生」では「150～200㎡未満」が最も高くなっている。

第1回、第2回、第3回及び第4回からの夫婦について、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第4回の住居の床面積階級別に、この4年間の出生の状況を見た。

「出生あり」の割合を出生順位別にみると、「第1子出生あり」では「25㎡未満」の56.5%、「第2子出生あり」では「150～200㎡未満」の63.6%、「第3子以降出生あり」では「200㎡以上」が23.8%と最も高くなっている。

また、住居の床面積別に出生の状況を見ると、「出生あり」総数では「25㎡未満」が最も高くなっているのに比べ、「第2子出生」では「150～200㎡未満」が最も高くなっている。(表14、図13)

表14 住居の床面積階級別にみたこの4年間の出生の状況

		(単位：%)												
		総数			子どもなし			1人			2人以上			
		総数	出生あり	出生なし	総数	第1子出生あり	出生なし	総数	第2子出生あり	出生なし	総数	第3子以降出生あり	出生なし	
住居の床面積	総数	(100.0)	100.0	31.5	68.5	100.0	38.1	61.9	100.0	53.0	47.0	100.0	15.0	85.0
	25㎡未満	(2.5)	100.0	43.0	57.0	100.0	56.5	43.5	100.0	60.0	40.0	100.0	18.2	81.8
	25～50㎡未満	(19.4)	100.0	35.2	64.8	100.0	36.0	64.0	100.0	53.5	46.5	100.0	18.2	81.8
	50～75㎡未満	(23.5)	100.0	32.8	67.2	100.0	36.9	63.1	100.0	58.0	42.0	100.0	12.7	87.3
	75～100㎡未満	(15.1)	100.0	30.0	70.0	100.0	41.1	58.9	100.0	45.7	54.3	100.0	13.4	86.6
	100～150㎡未満	(14.9)	100.0	23.6	76.4	100.0	32.9	67.1	100.0	41.6	58.4	100.0	14.7	85.3
	150～200㎡未満	(6.2)	100.0	30.1	69.9	100.0	37.0	63.0	100.0	63.6	36.4	100.0	14.9	85.1
	200㎡以上	(4.3)	100.0	33.6	66.4	100.0	32.0	68.0	100.0	55.0	45.0	100.0	23.8	76.2

注：1) 集計対象は、①または②に該当する同居夫婦である。ただし、妻の「出生前データ」が得られていない夫婦は除く。

①第1回から第5回まで双方から回答を得られている夫婦

②第1回に独身で第4回までに結婚し、第5回まで双方から回答を得られている夫婦

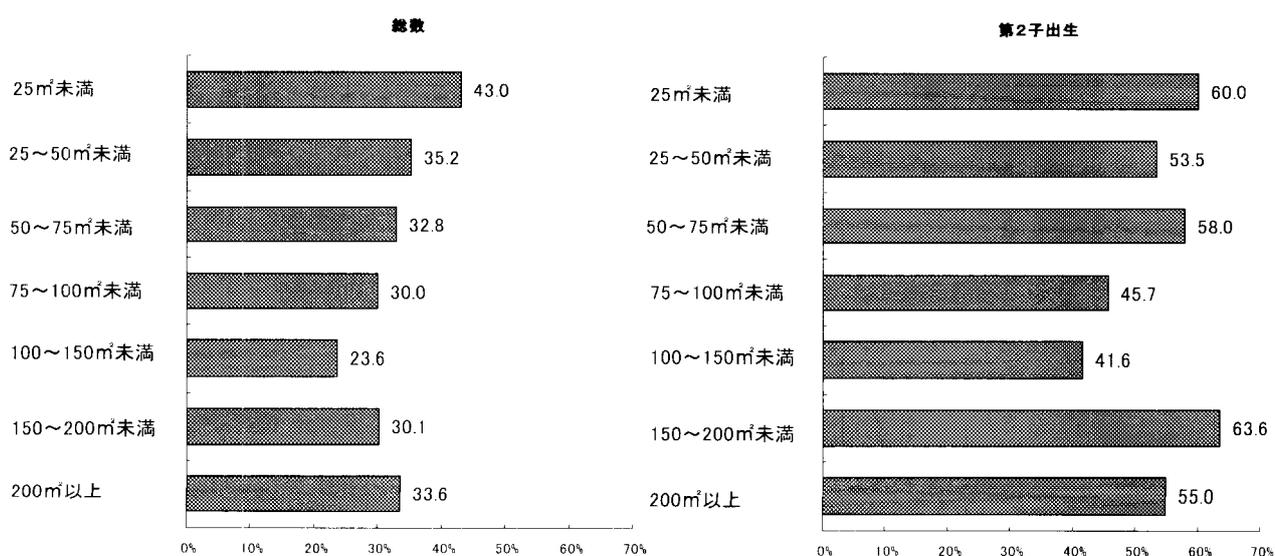
2) 住居の床面積は、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第4回の状況である。

3) 「子どもなし」「1人」「2人以上」は、出生前の状況である。

4) 4年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

5) 総数には、住居の床面積不詳を含む。

図13 住居の床面積階級別にみたこの4年間に「出生あり」の夫婦



注：1) 集計対象は、①または②に該当する同居夫婦である。ただし、妻の「出生前データ」が得られていない夫婦は除く。

①第1回から第5回まで双方から回答を得られている夫婦

②第1回に独身で第4回までに結婚し、第5回まで双方から回答を得られている夫婦

2) 住居の床面積は、出生前の状況である。

3) 4年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

(6) 夫婦の合計所得額別にみたこの3年間の出生の状況

「出生あり」の割合を出生順位別にみると、「第1子出生」では「100万円未満」が57.1%、「第2子出生」では「100～200万円未満」が56.3%、「第3子以降出生」では「200～300万円未満」が18.2%と最も高くなっている。

第1回、第2回、第3回及び第4回からの夫婦について、「出生あり」は、平成16年6月から平成17年5月までの出産は平成15年中、平成17年6月から平成18年5月までの出産は平成16年中、平成18年6月から平成18年10月までの出産は平成17年中の、「出生なし」は平成17年中の夫婦の合計所得額階級別に、この3年間の出生の状況をみた。

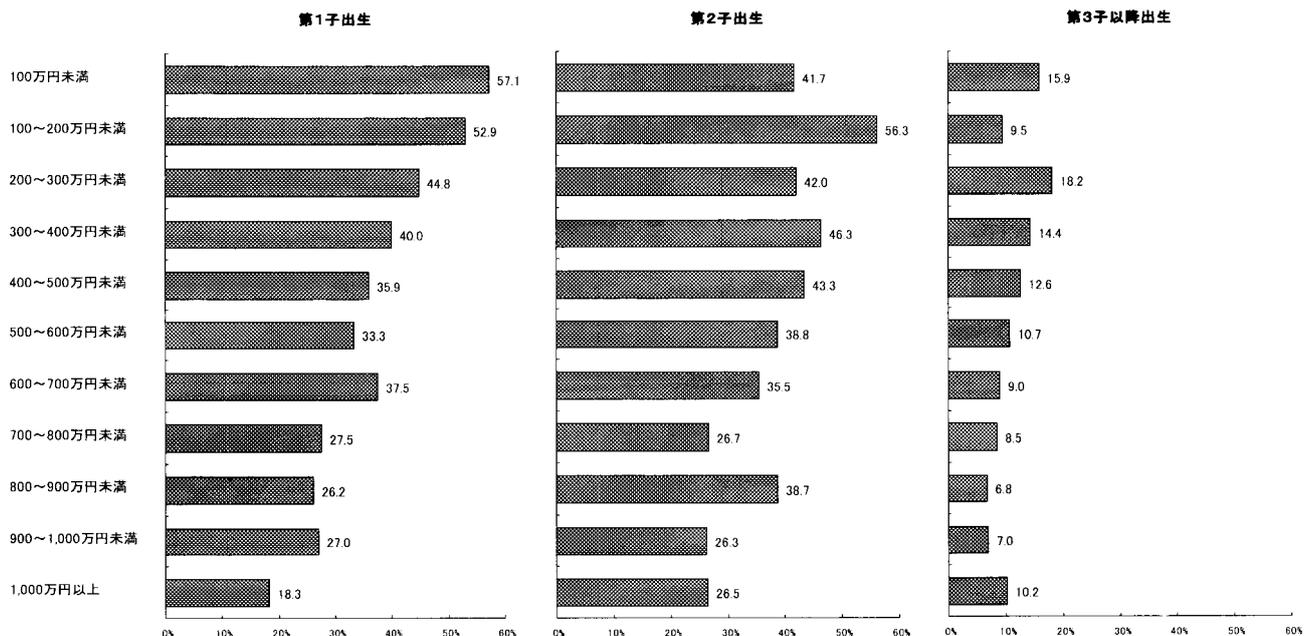
「出生あり」の割合を出生順位別にみると、「第1子出生あり」では「100万円未満」が57.1%、「第2子出生あり」では「100～200万円未満」が56.3%、「第3子以降出生あり」では「200～300万円未満」が18.2%と最も高くなっている。(表15、図14)

表15 夫婦の合計所得額階級別にみたこの3年間の出生の状況

		総数			子どもなし			1人			2人以上			
		総数	出生あり	出生なし	総数	第1子出生あり	出生なし	総数	第2子出生あり	出生なし	総数	第3子以降出生あり	出生なし	
夫婦の合計所得額	総数	(100.0)	100.0	23.7	76.3	100.0	33.1	66.9	100.0	41.1	58.9	100.0	10.7	89.3
	100万円未満	(2.7)	100.0	32.6	67.4	100.0	57.1	42.9	100.0	41.7	58.3	100.0	15.9	84.1
	100～200万円未満	(1.6)	100.0	37.0	63.0	100.0	52.9	47.1	100.0	56.3	43.8	100.0	9.5	90.5
	200～300万円未満	(5.0)	100.0	32.9	67.1	100.0	44.8	55.2	100.0	42.0	58.0	100.0	18.2	81.8
	300～400万円未満	(11.5)	100.0	29.8	70.2	100.0	40.0	60.0	100.0	46.3	53.7	100.0	11.4	88.6
	400～500万円未満	(16.0)	100.0	26.5	73.5	100.0	35.9	64.1	100.0	43.3	56.7	100.0	12.6	87.4
	500～600万円未満	(16.6)	100.0	21.9	78.1	100.0	33.3	66.7	100.0	38.8	61.2	100.0	10.7	89.3
	600～700万円未満	(11.6)	100.0	21.5	78.5	100.0	37.5	62.5	100.0	35.5	64.5	100.0	9.0	91.0
	700～800万円未満	(7.7)	100.0	17.7	82.3	100.0	27.5	72.5	100.0	26.7	73.3	100.0	8.5	91.5
	800～900万円未満	(5.6)	100.0	19.0	81.0	100.0	26.2	73.8	100.0	38.7	61.3	100.0	6.8	93.2
	900～1,000万円未満	(3.0)	100.0	18.2	81.8	100.0	27.0	73.0	100.0	26.3	73.7	100.0	7.0	93.0
1,000万円以上	(6.2)	100.0	15.8	84.2	100.0	18.3	81.7	100.0	26.5	73.5	100.0	10.2	89.8	

注：1) 集計対象は、①または②に該当する同居夫婦である。ただし、平成16年5月以前の出産で、出生前の所得額が平成14年中以前となる夫婦を除く。
 ①第1回から第5回まで双方から回答を得られている夫婦
 ②第1回に独身で第4回までに結婚し、第5回まで双方から回答を得られている夫婦
 2) 所得額は、夫婦の総所得額であり、「出生あり」は、平成16年6月から平成17年5月までの出産は平成15年中、平成17年6月から平成18年5月までの出産は平成16年中、平成18年6月から平成18年10月までの出産は平成17年中の、「出生なし」は平成17年中の状況である。
 3) 「子どもなし」「1人」「2人以上」は、出生前の状況である。
 4) 3年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。
 5) 総数には、所得額不詳を含む。

図14 夫婦の合計所得額階級別にみたこの3年間に「出生あり」の夫婦



注：1) 集計対象は、①または②に該当する同居夫婦である。ただし、平成16年5月以前の出産で、出生前の所得額が平成14年中以前となる夫婦を除く。
 ①第1回から第5回まで双方から回答を得られている夫婦
 ②第1回に独身で第4回までに結婚し、第5回まで双方から回答を得られている夫婦
 2) 所得額は、夫婦の総所得額であり、平成16年6月から平成17年5月までの出産は平成15年中、平成17年6月から平成18年5月までの出産は平成16年中、平成18年6月から平成18年10月までの出産は平成17年中の状況である。
 3) 3年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

2 仕事をしていた妻の出産後の就業継続の有無

(1) 出生順位、就業形態別にみた状況

仕事をしていた妻は、仕事が正規の場合 70.4%、非正規の場合 22.2%が出産後も同一就業を継続している。

第1回、第2回、第3回及び第4回からの夫婦のうち、この4年間に子どもが生まれた夫婦の、出産前に仕事ありであった妻について、出産後において「同一就業継続」であった割合は、48.6%となっている。また、出生順位別にみると、「第1子」では42.0%、「第2子」では55.0%、「第3子以降」では47.7%となっている。

さらに、就業形態別にみると、「正規」では70.4%、「非正規」では22.2%が「同一就業継続」となっている。(表16、図15)

表16 出生順位、就業形態別にみた出産後の就業継続の有無

(単位：%)

		総数	同一就業継続	転職	離職	不詳	
(再掲) 出生順位、 非正規前 の	総数	(100.0)	100.0	48.6	6.5	41.3	3.7
	第1子	(36.8)	100.0	42.0	2.2	52.5	3.3
	第2子	(41.1)	100.0	55.0	8.4	32.7	4.0
	第3子以降	(22.2)	100.0	47.7	10.1	38.5	3.7
	(再掲) 正規	(45.3)	100.0	70.4	2.2	26.5	0.9
	(再掲) 非正規	(38.4)	100.0	22.2	10.1	66.7	1.1

注：1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当するこの4年間に子どもが生まれた夫婦である。

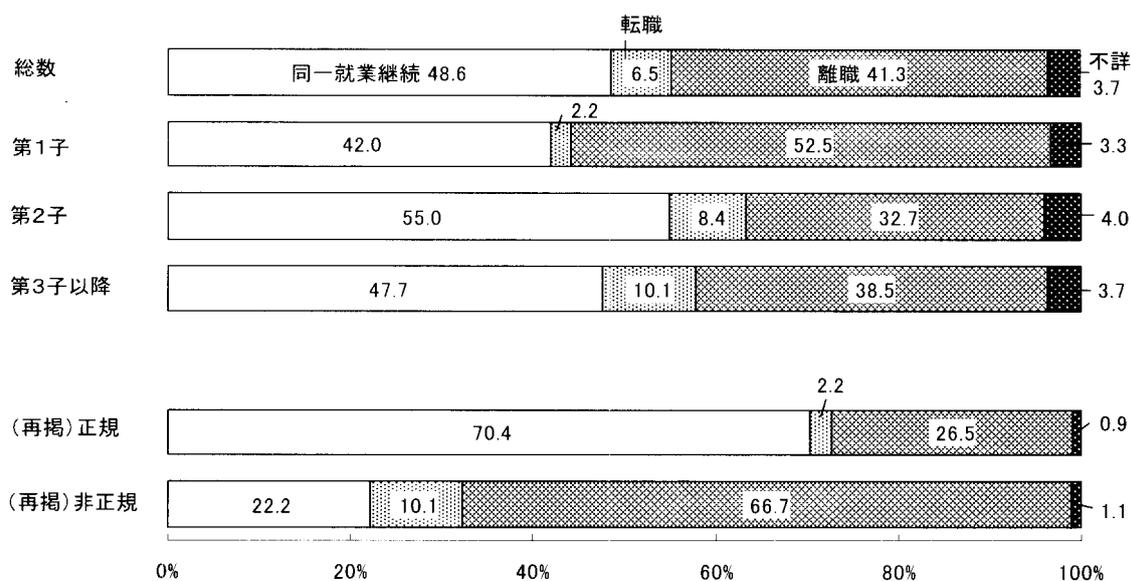
①第1回から第5回まで双方から回答を得られている夫婦

②第1回に独身で第4回までの間に結婚し、結婚後第5回まで双方から回答を得られている夫婦

③出産前に妻が仕事ありであった夫婦

2) 4年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

図15 出生順位、就業形態別にみた出産後の就業継続の有無



注：1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当するこの4年間に子どもが生まれた夫婦である。

①第1回から第5回まで双方から回答を得られている夫婦

②第1回に独身で第4回までの間に結婚し、結婚後第5回まで双方から回答を得られている夫婦

③出産前に妻が仕事ありであった夫婦

2) 4年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している

3) 「正規」「非正規」は、出産前の状況である

(2) 妻の職場の育児休業制度の有無別にみた状況

妻の職場に育児休業制度があり、利用しやすい雰囲気がある場合は77.9%、制度がない場合は19.3%の妻が、出産後も同一就業を継続している。

第1回、第2回、第3回及び第4回からの夫婦のうち、出産前に妻が会社等に勤めていて、この3年間に子どもが生まれた夫婦（表12において「出生あり」であった夫婦）について、妻の職場の利用可能な育児休業制度の有無別に、出産後における妻の就業継続の有無をみた。

「同一就業継続」の割合は、育児休業の「制度あり」では73.9%、「制度なし」では19.3%となっている。また、「制度あり」のうち「利用しやすい雰囲気がある」では77.9%、「利用しにくい雰囲気がある」では70.4%となっている。

さらに、就業形態別に見ると、「正規」で「制度あり」では81.5%、「非正規」で「制度あり」では、34.8%が「同一就業継続」となっている。（表17、図16）

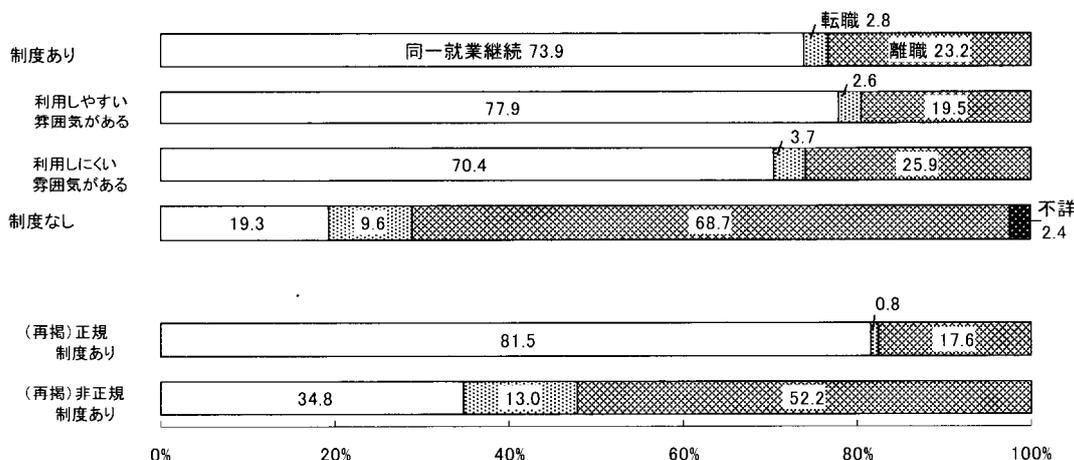
表17 妻の職場の育児休業制度の有無別にみた就業継続の有無

(単位：%)

		総数	同一就業継続	転職	離職	不詳	
出産前の妻の職場の育児休業制度の有無	総数	(100.0)	100.0	47.6	6.5	45.2	0.7
	制度あり	(48.6)	100.0	73.9	2.8	23.2	-
	利用しやすい雰囲気がある	(26.4)	100.0	77.9	2.6	19.5	-
	利用しにくい雰囲気がある	(9.2)	100.0	70.4	3.7	25.9	-
	どちらもいえない	(12.3)	100.0	66.7	2.8	30.6	-
	制度なし	(28.4)	100.0	19.3	9.6	68.7	2.4
	制度があるかないかわからない	(17.8)	100.0	23.1	9.6	67.3	-
	(再掲) 正規	(100.0)	100.0	71.7	1.3	26.3	0.7
	制度あり	(78.3)	100.0	81.5	0.8	17.6	-
	制度なし	(11.2)	100.0	41.2	-	52.9	5.9
制度があるかないかわからない	(7.9)	100.0	33.3	-	66.7	-	
(再掲) 非正規	(100.0)	100.0	21.4	12.1	65.7	0.7	
制度あり	(16.4)	100.0	34.8	13.0	52.2	-	
制度なし	(47.1)	100.0	13.6	12.1	72.7	1.5	
制度があるかないかわからない	(28.6)	100.0	20.0	12.5	67.5	-	

- 注：1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当するこの3年間に子どもが生まれた夫婦である。
 ①第1回から第5回まで双方から回答を得られている夫婦
 ②第1回に独身で第4回までの間に結婚し、結婚後第5回まで双方から回答を得られている夫婦
 ③出産前に妻が会社等に勤めていて、育児休業制度の有無のデータが得られている夫婦
 2) 育児休業制度の有無とは、利用可能な制度があるかどうかをいう。
 3) 「正規」「非正規」は、出産前の状況である。
 4) 総数には、育児休業制度の有無不詳を含む。

図16 妻の職場の育児休業制度の有無別にみた就業継続の有無



- 注：1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当するこの3年間に子どもが生まれた夫婦である。
 ①第1回から第5回まで双方から回答を得られている夫婦
 ②第1回に独身で第4回までの間に結婚し、結婚後第5回まで双方から回答を得られている夫婦
 ③出産前に妻が会社等に勤めていて、育児休業制度の有無のデータが得られている夫婦
 2) 育児休業制度の有無とは、利用可能な制度があるかどうかをいう。
 3) 「正規」「非正規」は、出産前の状況である。

(3) 夫の平日の家事・育児時間別にみた状況

出産後の夫の平日の家事・育児時間が長いほど、妻が出産後も同一就業を継続する割合が高くなり、離職する割合が低くなる傾向がある。

第1回、第2回、第3回及び第4回からの夫婦のうち、この4年間に子どもが生まれた夫婦の、出産前に仕事ありであった妻について、出産後の夫の平日の家事・育児時間別に、妻の出産後における「同一就業継続」の割合をみると、「家事・育児時間なし」で45.0%、「4時間以上」で65.3%となっている。また、「離職」の割合をみると、「家事・育児時間なし」で50.0%、「4時間以上」で22.4%と、夫の家事・育児時間が長いほど低くなる傾向がある。(表18、図17)

表18 夫の平日の家事・育児時間別にみた妻の就業継続の有無

		(単位：%)					
		総数	同一就業継続	転職	離職	不詳	
出生順後位の夫の平日の家事・育児時間	総数	(100.0)	100.0	48.1	6.2	41.9	3.7
	家事・育児時間なし	(8.3)	100.0	45.0	2.5	50.0	2.5
	2時間未満	(48.8)	100.0	44.7	5.1	46.0	4.3
	2～4時間未満	(30.1)	100.0	47.6	8.3	40.0	4.1
	4時間以上	(10.2)	100.0	65.3	10.2	22.4	2.0
	第1子出産	(100.0)	100.0	40.9	2.3	53.4	3.4
	家事・育児時間なし	(11.4)	100.0	30.0	-	65.0	5.0
	2時間未満	(54.5)	100.0	38.5	2.1	54.2	5.2
	2～4時間未満	(22.7)	100.0	45.0	2.5	52.5	-
	4時間以上	(9.1)	100.0	56.3	6.3	37.5	-
	第2子以降出産	(100.0)	100.0	52.3	8.5	35.3	3.9
	家事・育児時間なし	(6.5)	100.0	60.0	5.0	35.0	-
	2時間未満	(45.4)	100.0	48.9	7.2	40.3	3.6
	2～4時間未満	(34.3)	100.0	48.6	10.5	35.2	5.7
	4時間以上	(10.8)	100.0	69.7	12.1	15.2	3.0

注：1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当するこの4年間に子どもが生まれた夫婦である。

①第1回から第5回まで双方から回答を得られている夫婦

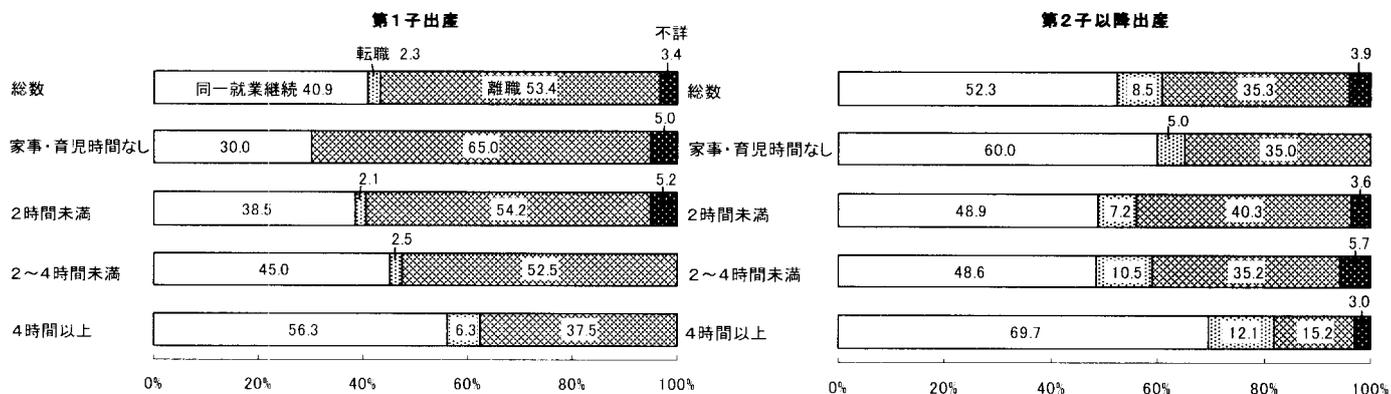
②第1回に独身で第4回までの間に結婚し、結婚後第5回まで双方から回答を得られている夫婦

③出産前に妻が仕事ありであった夫婦

2) 4年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

3) 総数には、家事・育児時間不詳を含む。

図17 夫の平日の家事・育児時間別にみた妻の就業継続の有無



注：1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当するこの4年間に子どもが生まれた夫婦である。

①第1回から第5回まで双方から回答を得られている夫婦

②第1回に独身で第4回までの間に結婚し、結婚後第5回まで双方から回答を得られている夫婦

③出産前に妻が仕事ありであった夫婦

2) 4年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

3) 総数には、家事・育児時間不詳を含む。

(4) 1年前の「出産後の就業継続意欲」別にみた状況

仕事を「出産した後も続ける」と考えていた妻の80.7%が、出産後も同一就業を継続している。

第1回、第2回、第3回及び第4回からの夫婦のうち、第4回に仕事をしていて、この1年間に出産した妻について、第4回の出産後の就業継続意欲別に就業継続の有無をみた。

同じ仕事を「出産した後も続ける」と考えていた妻の80.7%が、出産後も「同一就業継続」となっている。

また、出生順位別にみると、「出産した後も続ける」と考えていた場合の「同一就業継続」は、「第1子出産」で93.8%、「第2子出産」で72.0%、「第3子以降出産」では81.3%となっている。(表19、図18)

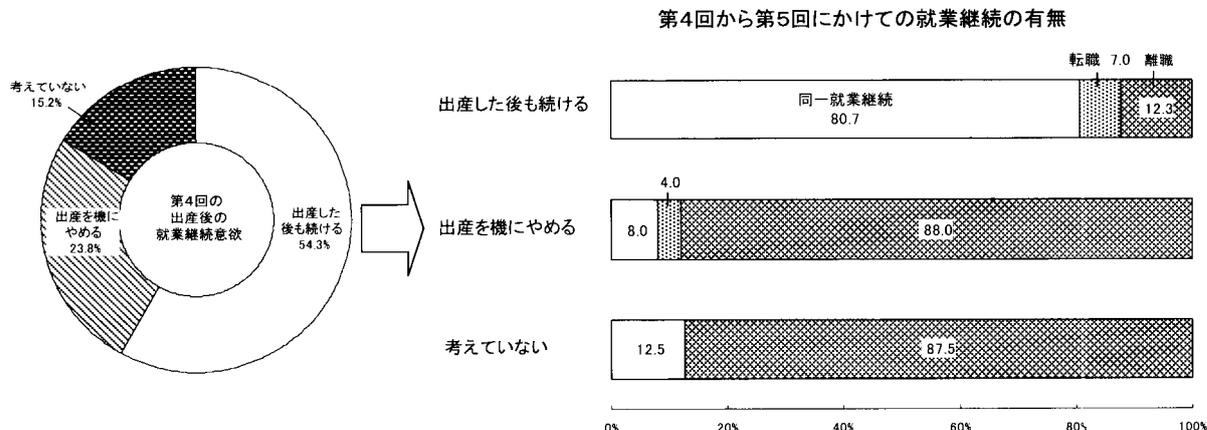
表19 妻の第4回の出産後の就業継続意欲別にみた就業継続の有無

(単位：%)

		総数	同一就業継続	転職	離職	
出生 順位、 第4回 の出産 後の 正規・ 非正規 就業 継続 意欲、	総数	(100.0)	100.0	50.5	6.7	42.9
	出産した後も続ける	(54.3)	100.0	80.7	7.0	12.3
	出産を機にやめる	(23.8)	100.0	8.0	4.0	88.0
	考えていない	(15.2)	100.0	12.5	-	87.5
	第1子出産	(100.0)	100.0	46.2	-	53.8
	出産した後も続ける	(41.0)	100.0	93.8	-	6.3
	出産を機にやめる	(41.0)	100.0	6.3	-	93.8
	考えていない	(15.4)	100.0	33.3	-	66.7
	第2子出産	(100.0)	100.0	48.7	12.8	38.5
	出産した後も続ける	(64.1)	100.0	72.0	12.0	16.0
	出産を機にやめる	(15.4)	100.0	-	-	100.0
	考えていない	(10.3)	100.0	-	-	100.0
第3子以降出産	(100.0)	100.0	59.3	7.4	33.3	
出産した後も続ける	(59.3)	100.0	81.3	6.3	12.5	
出産を機にやめる	(11.1)	100.0	33.3	33.3	33.3	
考えていない	(22.2)	100.0	-	-	100.0	
(再掲) 正規		(100.0)	100.0	74.5	3.9	21.6
出産した後も続ける	(78.4)	100.0	90.0	5.0	5.0	
出産を機にやめる	(17.6)	100.0	11.1	-	88.9	
考えていない	(2.0)	100.0	100.0	-	-	
(再掲) 非正規		(100.0)	100.0	21.1	7.9	71.1
出産した後も続ける	(21.1)	100.0	62.5	25.0	12.5	
出産を機にやめる	(42.1)	100.0	6.3	6.3	87.5	
考えていない	(34.2)	100.0	7.7	-	92.3	

注：1) 集計対象は、第5回まで双方から回答を得られている同居夫婦で、妻が第4回に仕事ありで、この1年間に出産した夫婦のうち、第4回の子どもをもつ意欲が「絶対欲しい」「欲しい」「どちらとも言えない」「あまり欲しくない」のいずれかの者である。
2) 総数には、出産後の就業継続意欲不詳を含む。

図18 妻の第4回の出産後の就業継続意欲別にみた就業継続の有無



注：集計対象は、第5回まで双方から回答を得られている同居夫婦で、妻が第4回に仕事ありで、この1年間に出産した夫婦のうち、第4回の子どもをもつ意欲が「絶対欲しい」「欲しい」「どちらとも言えない」「あまり欲しくない」のいずれかの者である。

配偶者や家族が退職することを望んだり、あるいは、会社に働き続けにくい雰囲気がある、ということがあった妻では、「同一就業継続」が23.8%、「離職」が71.4%となっている。

第4回の出産後の就業継続に関する家族の考え方や会社の雰囲気別に、就業継続の有無をみると、「配偶者や家族が出産後退職することを望んでいる」あるいは「会社に出産後働き続けにくい雰囲気がある」ということがあった場合、「同一就業継続」が23.8%、「離職」が71.4%となっている。

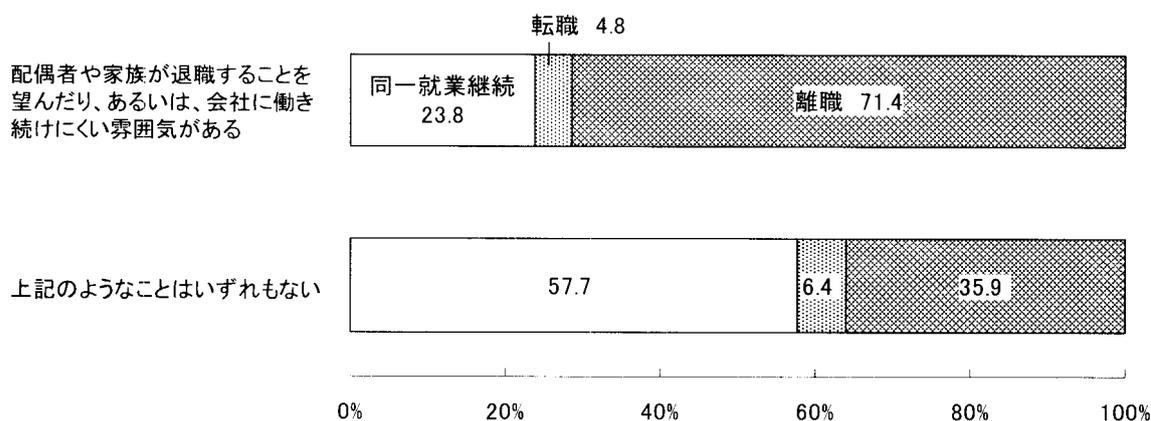
また、「配偶者や家族が出産後退職することを望んでいる」、「会社に出産後働き続けにくい雰囲気がある」ということがいずれもなかった場合、「同一就業継続」が57.7%、「離職」が35.9%となっている。(表20、図19)

表20 妻の第4回の出産後の就業継続に関する家族の考え方や会社の雰囲気別にみた就業継続の有無

		(単位：%)				
		総数	同一就業継続	転職	離職	
第4回の 家族の考え方や 会社の雰囲気	総数	(100.0)	100.0	50.5	6.7	42.9
	配偶者や家族が退職することを望んだり、 あるいは、会社に働き続けにくい雰囲気がある	(20.0)	100.0	23.8	4.8	71.4
	上記のようなことはいずれもない	(74.3)	100.0	57.7	6.4	35.9

注：1) 集計対象は、第5回まで双方から回答を得られている同居夫婦で、妻が第4回に仕事ありで、この1年間に出産した夫婦のうち、第4回の子どもをもつ意欲が「絶対欲しい」「欲しい」「どちらとも言えない」「あまり欲しくない」のいずれかの者である。
2) 総数には、出産後の就業継続に関する家族の考え方や会社の雰囲気不詳を含む。

図19 妻の第4回の出産後の就業継続に関する家族の考え方や会社の雰囲気別にみた就業継続の有無



注：集計対象は、第5回まで双方から回答を得られている同居夫婦で、妻が第4回に仕事ありで、この1年間に出産した夫婦のうち、第4回の子どもをもつ意欲が「絶対欲しい」「欲しい」「どちらとも言えない」「あまり欲しくない」のいずれかの者である。

Ⅲ 職業観・子ども観

1 職業観

「独身」、「配偶者あり・出生なし」、「配偶者あり・出生あり」で職業観の割合の差が男女ともに大きいのは、「家計に余裕をもつため」「経済的に自立するため」となっている。

第1回の独身者について、第5回の配偶者の有無、この4年間の出生の有無別に、第5回の職業観をみた。

「独身」、「配偶者あり・出生なし」、「配偶者あり・出生あり」別に職業観の割合の差をみると、男女ともに差が大きいのは、「家計に余裕をもつため」、「経済的に自立するため」となっており、男では、「生計を維持するため」、女では「社会人の責任・義務」の差が大きくなっている。

また、「生計を維持するため」は、男は、「独身」、「配偶者あり・出生なし」、「配偶者あり・出生あり」の順に割合が高くなっているが、女は順に低くなっている。(表21、図20)

表21 性、第5回の配偶者の有無、この4年間の出生の有無別にみた
第5回の職業観（複数回答）

(単位：%)

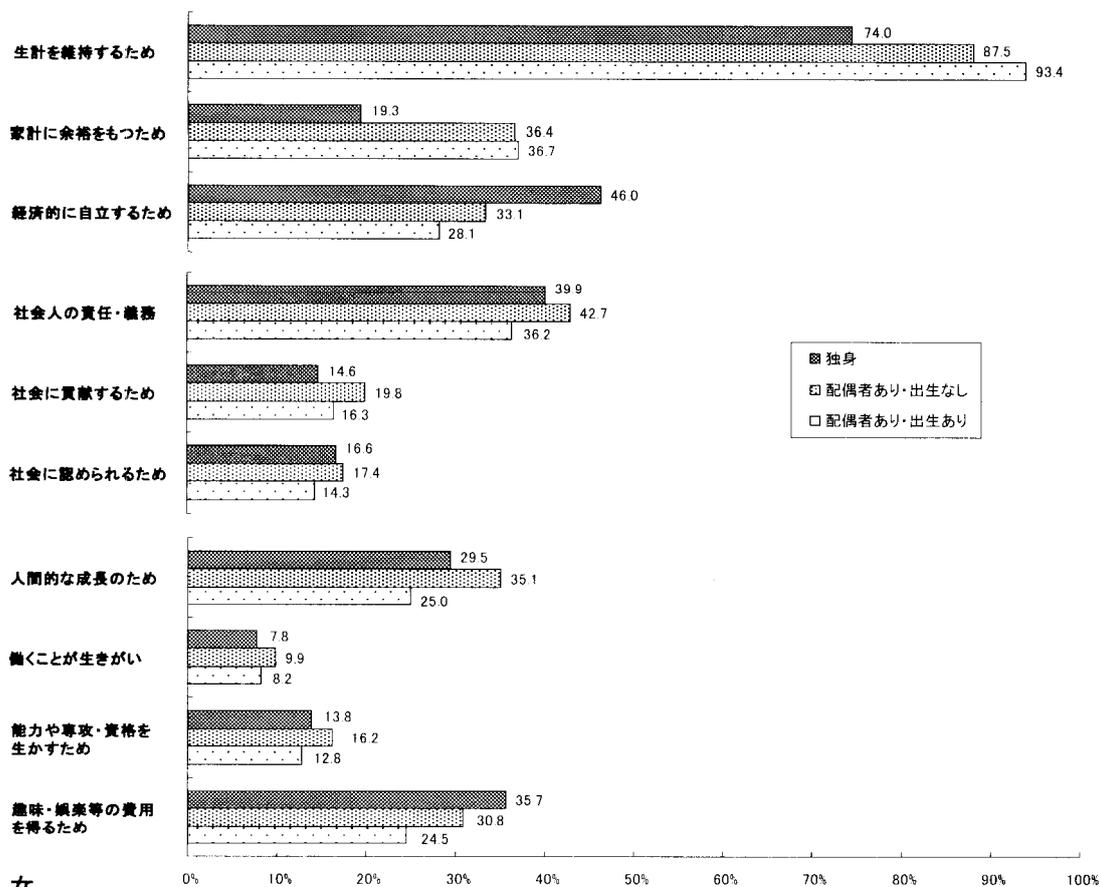
		男				女			
		総数	独身	配偶者あり		総数	独身	配偶者あり	
				出生なし	出生あり			出生なし	出生あり
第5回の職業観 (複数回答)	総数	100.0 (100.0)	100.0 (83.6)	100.0 (12.4)	100.0 (4.0)	100.0 (100.0)	100.0 (78.4)	100.0 (15.9)	100.0 (5.6)
	生計を維持するため	76.5	74.0	87.5	93.4	68.9	69.8	66.7	62.3
	家計に余裕をもつため	22.1	19.3	36.4	36.7	28.4	16.9	67.4	78.0
	経済的に自立するため	43.7	46.0	33.1	28.1	42.2	47.9	22.6	19.4
	社会人の責任・義務	40.1	39.9	42.7	36.2	36.5	41.5	20.1	13.8
	社会に貢献するため	15.3	14.6	19.8	16.3	12.2	12.6	11.2	10.1
	社会に認められるため	16.6	16.6	17.4	14.3	15.0	16.2	11.0	10.1
	人間的な成長のため	30.0	29.5	35.1	25.0	36.9	37.1	34.5	39.9
	働くことが生きがい	8.1	7.8	9.9	8.2	9.4	8.6	12.2	12.7
	能力や専攻・資格を生かすため	14.1	13.8	16.2	12.8	21.3	20.7	22.5	25.4
	趣味・娯楽等の費用を得るため	34.7	35.7	30.8	24.5	39.0	40.0	35.8	33.6
	特別な意義はない	4.5	5.0	1.6	3.1	2.9	3.3	1.6	1.1
わからない	1.0	1.1	0.5	0.5	0.4	0.5	0.3	-	
その他	0.9	1.0	0.3	0.5	1.1	0.9	1.8	1.9	

注：1)集計対象は、第1回独身で第5回まで回答を得られている者である。

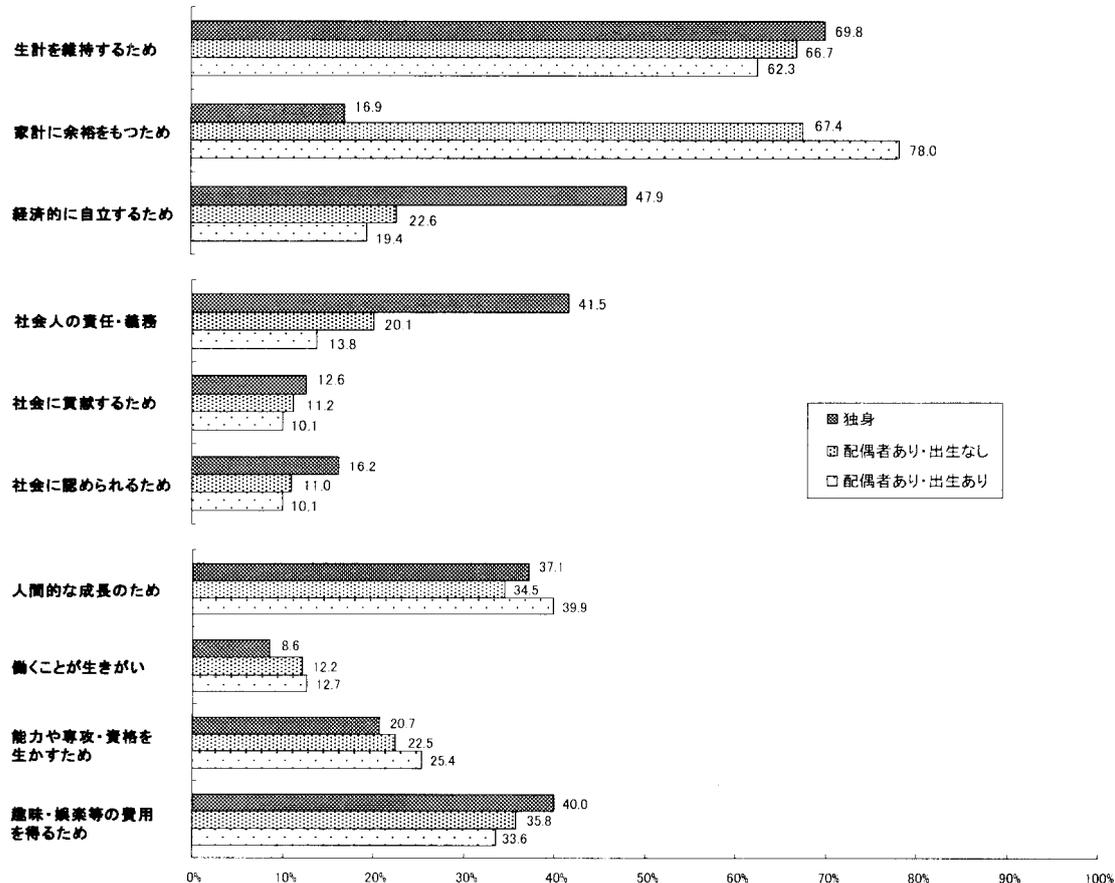
2)総数には、職業観不詳を含む。

図20 第5回の配偶者の有無、この4年間の出生の有無別にみた
第5回の職業観（複数回答）

男



女



注：集計対象は、第1回独身で第5回まで回答を得られている者である。

2 子ども観

「独身」、「配偶者あり・出生なし」、「配偶者あり・出生あり」で子ども観の割合の差が男女ともに大きいのは、「家族との結びつきが深まる」、「子どもとのふれあいが楽しい」、「子育てを通じて人間的に成長できる」となっている。

第1回の独身者について、第5回の配偶者の有無、この4年間の出生の有無別に、第5回の子ども観をみた。

「独身」、「配偶者あり・出生なし」、「配偶者あり・出生あり」別に子ども観の割合の差をみると、男女ともに差が大きいのは、「家族の結びつきが深まる」、「子どもとのふれあいが楽しい」、「子育てを通じて人間的に成長できる」となっており、男では、「仕事に張り合いが生まれる」、女では、「子育てを通じて自分の友人が増える」の差が大きくなっている。特に、男女ともに「子どもとのふれあいが楽しい」の差が大きい。(表22、図21)

表22 性、第5回の配偶者の有無、この4年間の出生の有無別にみた
第5回の子ども観(複数回答)

(単位：%)

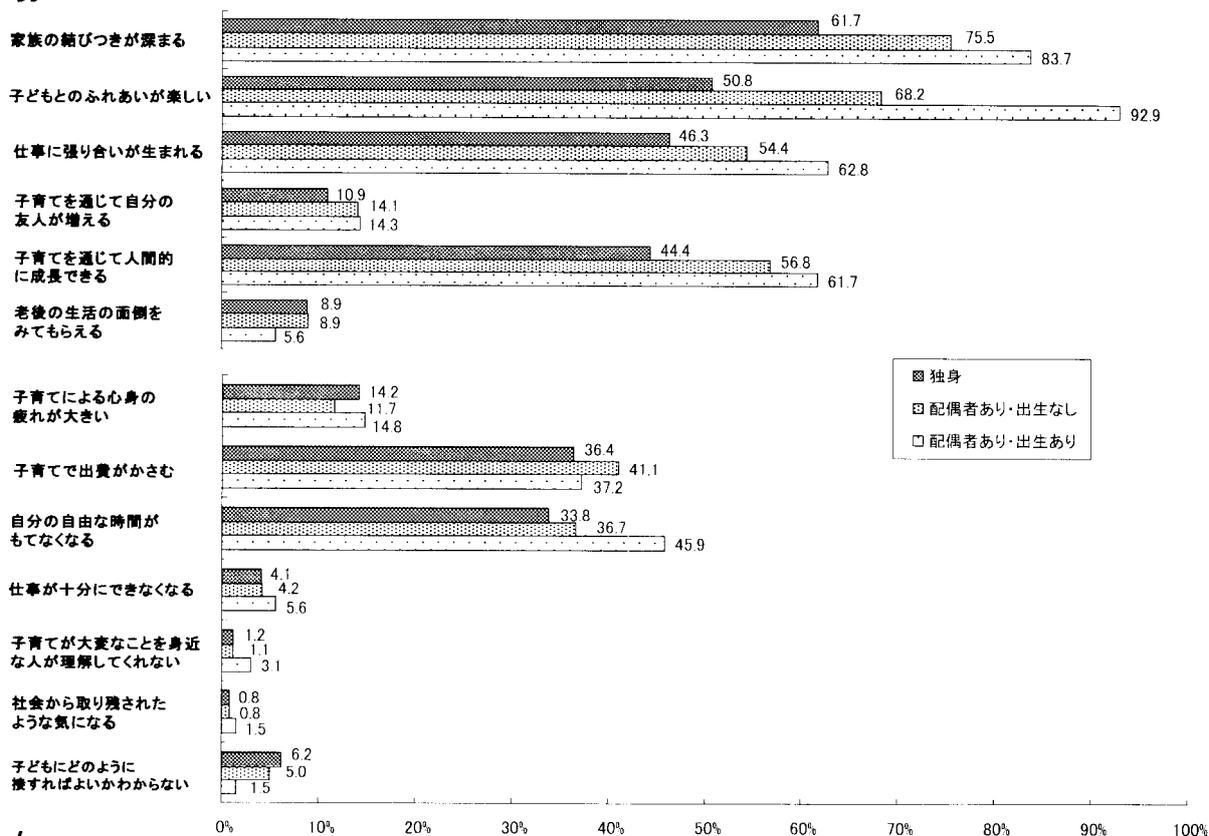
		男				女			
		総数	独身	配偶者あり		総数	独身	配偶者あり	
				出生なし	出生あり			出生なし	出生あり
第5回の子ども観 (複数回答)	総数	100.0 (100.0)	100.0 (83.6)	100.0 (12.4)	100.0 (4.0)	100.0 (100.0)	100.0 (78.4)	100.0 (15.9)	100.0 (5.6)
	家族の結びつきが深まる	64.3	61.7	75.5	83.7	73.2	70.1	83.8	87.3
	子どもとのふれあいが楽しい	54.6	50.8	68.2	92.9	65.8	62.4	73.2	91.8
	仕事に張り合いが生まれる	48.0	46.3	54.4	62.8	23.0	23.3	23.2	18.3
	子育てを通じて自分の友人が増える	11.4	10.9	14.1	14.3	23.5	21.1	28.4	43.3
	子育てを通じて人間的に成長できる	46.6	44.4	56.8	61.7	69.1	66.8	75.3	83.2
	老後の生活の面倒をみてもらえる	8.7	8.9	8.9	5.6	11.0	11.8	8.6	6.3
	子育てによる心身の疲れが大きい	13.9	14.2	11.7	14.8	25.8	25.4	26.8	29.1
	子育てで出費がかさむ	37.0	36.4	41.1	37.2	45.4	44.7	51.4	38.1
	自分の自由な時間がもてなくなる	34.7	33.8	36.7	45.9	54.1	53.1	54.2	67.5
	仕事が十分にできなくなる	4.1	4.1	4.2	5.6	24.6	24.5	26.9	20.1
	子育てが大変なことを身道な人が理解してくれない	1.2	1.2	1.1	3.1	2.7	2.7	2.1	3.7
	社会から取り残されたような気になる	0.8	0.8	0.8	1.5	4.9	3.7	7.3	15.3
	子どもにどのように接すればよいかわからない	5.9	6.2	5.0	1.5	8.0	8.4	7.4	3.0
その他	1.4	1.5	0.8	2.0	1.8	1.5	3.0	3.0	
感じていることは特になし	7.7	8.8	2.3	0.5	3.2	3.9	0.8	-	

注：1)集計対象は、第1回独身で第5回まで回答を得られている者である。

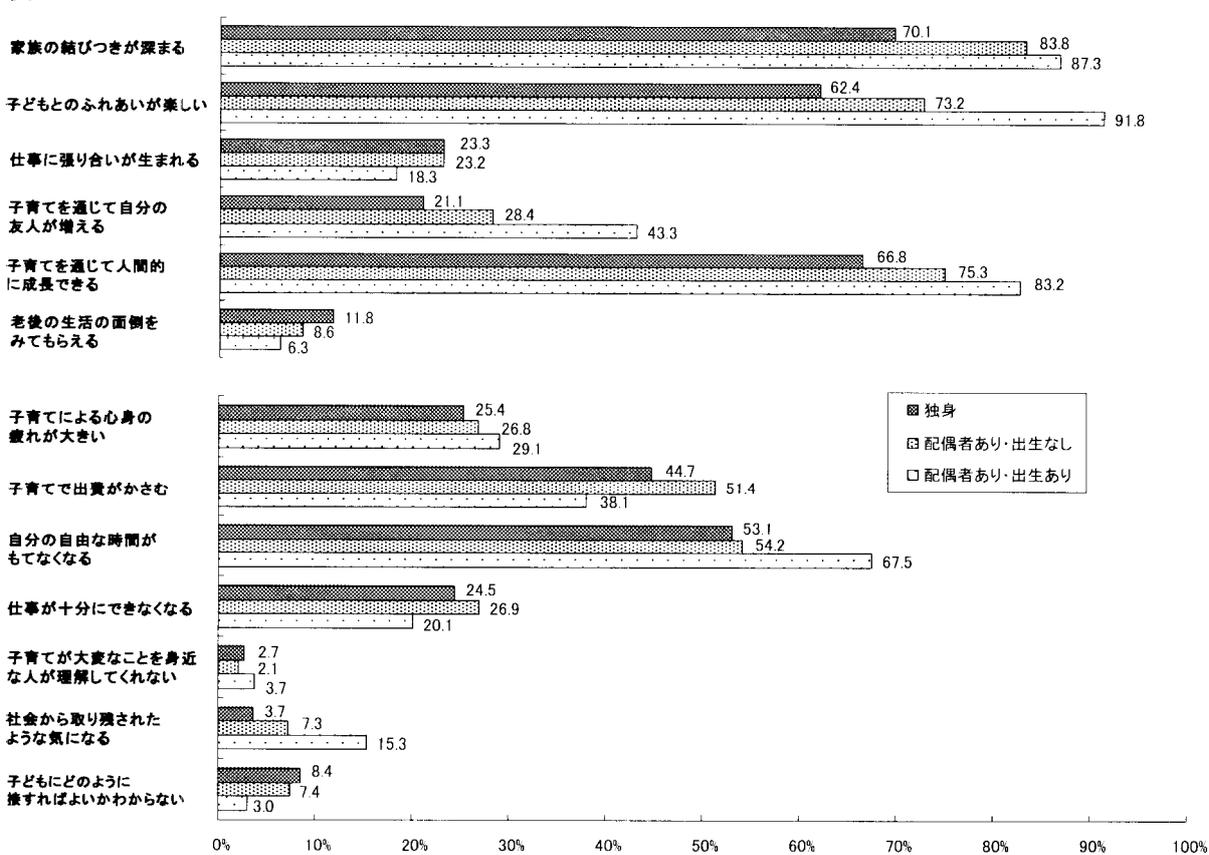
2)総数には、子ども観不詳を含む。

図2-1 第5回の配偶者の有無、この4年間の出生の有無別にみた第5回の子ども観（複数回答）

男



女



注：集計対象は、第1回独身で第5回まで回答を得られている者である。

参 考

1 集計客体数一覧

I 結婚の状況、III 職業観・子ども観

本章では、主に以下について集計している。
 ・第1回の独身者：第1回調査で独身であり、第5回まで回答を得られている者
 ・第3回の独身者：第3回調査で独身であり、第5回まで回答を得られている者

図表番号	集計対象の条件	客体数		対象となる調査票			
		男	女	男性票	女性票	配偶者 (男性用)	配偶者 (女性用)
表1, 図1	第1回の男性票、女性票	7,588	8,403	○	○		
表2, 3, 21, 22 図2, 3, 20, 21	第1回の独身者	4,951	4,748	○	○		
表4	「結婚した」は結婚前に、「結婚していない」は第4回に仕事ありの者	4,332	4,237	○	○		
表5, 図4 注)	この4年間に結婚した者	810	1,024	○	○		
表7, 図6 注)	この4年間に結婚し、結婚前に仕事ありの女性		916		○		
表8, 9 図7, 8 注)	この1年間に結婚し、結婚前に仕事ありの女性		227		○		
表5, 図4	第5回まで独身	4,139	3,723	○	○		
表6, 図5 注)	第3回の独身者	4,562	4,262	○	○		

注) 表5, 6, 7, 8, 9については、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。

II 夫婦における子どもの出生の状況

本章では、以下について集計している。
 ・第1回からの夫婦：第1回から夫婦として調査対象としており、第1回から第5回まで夫、妻双方から回答を得られている夫婦
 ・第2回からの夫婦：第1回独身で第2回までに結婚し、その後第5回まで双方から回答を得られている夫婦
 ・第3回からの夫婦：第1回独身で第2回から第3回の間結婚し、その後第5回まで双方から回答を得られている夫婦
 ・第4回からの夫婦：第1回独身で第3回から第4回の間結婚し、その後第5回まで双方から回答を得られている夫婦

図表番号	集計対象の条件	客体数					対象となる調査票			
		第1回からの 夫婦	第2回からの 夫婦	第3回からの 夫婦	第4回からの 夫婦	計	男性票	女性票	配偶者 (男性用)	配偶者 (女性用)
表10, 図9	夫婦	3,170	205	238	267	3,880	○	○	○	○
表11, 13, 14 図10, 12, 13 1)	出生ありの夫婦のうち、妻の「出生前データ（用語の定義10参照）」が得られていない夫婦を除く	3,002	172	197	207	3,578	○	○	○	○
表12, 図11	「出生あり」は出生前に、「出生なし」は第4回に妻が会社等に勤めており、育児休業制度の有無のデータが得られている	1,375	92	121	124	1,712	○	○	○	○
表15, 図14 1)	出生ありの夫婦のうち、平成16年5月以前の出産で、出生前の所得額が平成14年中以前となる夫婦を除く	2,743	161	193	203	3,300	○	○	○	○
表16, 18 図15, 17 1)	この4年間に出生あり、出産前に妻に仕事あり	404	40	34	14	492		○		
表17, 図16	この3年間に出生ありで、出産前に妻が会社等に勤めており、育児休業制度の有無のデータが得られている	211	36	32	13	292		○		
表19, 20 図18, 19 2)	この1年間に出生ありで、出産前に妻に仕事あり	69	5	17	14	105	○	○	○	○

注：1) 表13, 14, 15, 18については、調査対象となつてから同居している夫婦のみを対象としている。
 2) 第4回の子どもをもつ意欲が「絶対欲しい」「欲しい」「どちらとも言えない」「あまり欲しくない」のいずれかの者である。

2 1以外の集計客体数

I 結婚の状況

表7 年齢階級別にみた女性の就業継続の有無

	総数	(再掲) 正規	(再掲) 非正規
総数	916	542	279

表8 第4回の結婚後の就業継続意欲別にみた女性の就業継続の有無

	総数	(再掲) 正規	(再掲) 非正規
総数	227	139	77

II 夫婦における子どもの出生の状況

表1-1 妻の仕事の有無別にみたこの4年間の出生の状況

	総数	子どもなし	1人	2人以上
総数	3 578	887	1 011	1 680
仕事あり	2 154	634	472	1 048
(再掲) 正規	705	303	170	232
(再掲) 非正規	1 431	282	231	618
仕事なし	1 421	253	539	629

表1-2 妻の職場の育児休業制度の有無別にみたこの3年間の出生の状況

	総数	子どもなし	1人	2人以上
総数	1 712	537	345	830
制度あり	661	251	134	276
利用しやすい雰囲気がある	309	103	72	134
利用しにくい雰囲気がある	141	66	21	54
どちらともいえない	170	69	31	67
制度なし	563	154	118	291
制度があるかわからない	418	111	76	231

表1-3 夫の休日の家事・育児時間別にみたこの4年間の出生の状況

	総数	子どもなし	1人	2人以上
総数	3 486	860	990	1 636
家事・育児時間なし	311	178	44	89
2時間未満	938	449	156	333
2～4時間未満	747	153	209	385
4～6時間未満	474	22	176	276
6～8時間未満	207	4	94	109
8時間以上	672	9	269	394

表1-4 住居の床面積階級別にみたこの4年間の出生の状況

	総数	子どもなし	1人	2人以上
総数	3 486	860	990	1 636
25㎡未満	86	23	30	33
25～50㎡未満	677	222	213	242
50～75㎡未満	820	271	219	330
75～100㎡未満	527	124	164	239
100～150㎡未満	521	70	125	326
150～200㎡未満	216	27	55	134
200㎡以上	149	25	40	84

表1-5 夫婦の合計所得階級別にみたこの3年間の出生の状況

	総数	子どもなし	1人	2人以上
総数	3 300	795	827	1 678
100万円未満	46	6	14	26
100～200万円未満	54	17	16	21
200～300万円未満	164	29	69	66
300～400万円未満	379	75	123	181
400～500万円未満	528	117	150	261
500～600万円未満	547	111	129	307
600～700万円未満	382	96	76	210
700～800万円未満	254	80	45	129
800～900万円未満	184	65	31	88
900～1,000万円未満	99	37	19	43
1,000万円以上	203	71	34	98

表1-7 妻の職場の育児休業制度の有無別にみた就業継続の有無

	総数	(再掲) 正規	(再掲) 非正規
総数	292	152	140

表1-8 夫の平日の家事・育児時間別にみた妻の就業継続の有無

	総数	第1子出産	第2子以降出産
総数	482	176	306

表1-9 妻の第1回の出産後の就業継続意欲別にみた就業継続の有無

	総数	第1子出産	第2子以降出産	第3子以降出産	(再掲) 正規	(再掲) 非正規
総数	105	39	39	27	51	38

III 職業観・子ども観

表2-1 性、第5回の配偶者の有無、この4年間の出生の有無別にみた第5回の職業観（複数回答）

表2-2 性、第5回の配偶者の有無、この4年間の出生の有無別にみた第5回の子ども観（複数回答）

	総数	独身	配偶者あり	
			出生なし	出生あり
男	4 951	4 139	616	196
女	4 748	3 723	757	268

用語の定義

- 1 「**独身者**」とは、「配偶者なし」と回答した者をいい、未婚、離別、死別は区別していない。
- 2 「**結婚した**」及び「**夫婦**」には、事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない者を含む。
- 3 「**正規**」及び「**非正規**」は次の就業形態をいう。
「正規」 … 正規の職員・従業員
「非正規」… アルバイト、パート、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員・嘱託、その他
なお、これらの就業形態は、勤め先における呼称を基準としている。
- 4 「**同一就業継続**」とは、勤め先、及び就業形態が変わっていないこと、また、自ら行っている事業が変わっていないことをいう。
- 5 「**子どもなし**」とは、「子ども」欄に記入がなかった者をいう。
- 6 「**育児休業制度の有無**」とは、「あなたのお勤めの会社等には、あなたの就業形態で利用可能な次の制度はありますか」と質問した時の、育児休業制度についての回答である。
- 7 「**家事・育児時間**」とは、1日の中で家事や育児に何時間くらい費やしているかを、平日と休日に分けて質問したものである。
- 8 「**第1回**」「**第2回**」「**第3回**」「**第4回**」「**第5回**」とは、それぞれの回の調査で把握した項目である。
- 9 「**結婚前**」「**結婚後**」とは、それぞれ結婚直前、直後の調査において把握した状況である。
- 10 「**出生前（出産前）**」とは、各年5月までの間に出生があった場合は前々回の調査、6月から次の調査までの間に出生があった場合は前回の調査において把握した状況とする。また、「**出生前データ**」とは、出生前（出産前）の時点で把握した対象者のデータをいう。
これは、出生に係る分析においては、妊娠中における回答であるか否かに振り分けようとしたものである。
- 11 「**出生後（出産後）**」とは、出生直後の調査において把握した状況である。

- 12 「この4年間」とは、第1回調査から第5回調査までの間のことをいう。また、「この3年間」とは第2回調査から第5回調査までの間、「この2年間」とは第3回調査から第5回調査までの間、「この1年間」とは第4回調査から第5回調査までの間のことをいう。
- 13 「所得額」は、第3回では平成15年分を、第4回では平成16年分を、第5回では平成17年分を把握した。
- 14 「結婚（出産）後の就業継続意欲」とは、「結婚（出産）した後も現在の仕事を続けますか。」と質問したものである。
- 15 「職業観」とは、働くことに対する考え方を質問したものである。
- 16 「子ども観」とは、子どもをもつことに関する考え方を質問したものである。